

三 所有者ニ於テ自己ノ行爲ニ因ルニアラスシテ船舶ノ名稱ノ爲メニ著シキ不便ヲ受クルトキ

第二十條 甲管海官廳ノ管轄區域内ニ船籍港ヲ定メタル船舶ノ船籍港ヲ乙管海官廳ノ管轄區域内ニ變更スル場合ニハ甲管海官廳ニ變更ノ登録ヲ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テ甲管海官廳ハ其船舶ニ關スル船舶原簿ノ謄本及其附屬書類ヲ乙管海官廳ニ移送シ該船舶ノ登録用紙ヲ閉鎖ス

船舶原簿ノ謄本ニハ現存セル登録ノミヲ謄寫ス

乙管海官廳ハ第二項ノ規定ニ依リ移送ヲ受ケタル謄本ニ依リ其船舶原簿ニ登録ヲ移ス

第二十一條 船籍港甲管海官廳ノ管轄區域内ヨリ乙管海官廳ノ管轄區域内ニ轉屬シタルトキハ管海官廳ハ申請ヲ待タヌ前條第二項乃至第四項ノ手續ヲ爲ス

第二十二條 第十七條第二項第六號乃至第十二號第十九條乃至第二十一號第二十八號乃至第三十五號ノ事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テ變更ノ登録ヲ爲サントスル者ハ變更ニ係ル新舊事項ヲ申請書ニ別記シ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ之ヲ差出スヘシ

第十二條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

旅客ヲ搭載スル場合ニ於テ五歳以上十二歳未満ノ者ハ二人、五歳未満ノ者ハ四人ヲ以テ前條及本條ニ依リ定メタル旅客定員ノ一人トシテ計算スルコトヲ得(明治三十一年六月遞信省令第十二號ヲ以テ本項ヲ追加ス)

第二十三條 船籍港ヲ管轄スル管海官廳ノ管轄區域外ニ船舶ノ所在スル場合ニ於テ前條ノ登録ヲ爲サントスルトキハ船舶所在地ヲ管轄スル管海官廳ニ臨檢ヲ申請シ臨檢報告書ノ交付ヲ受クルコトヲ得

前項ノ臨檢報告書ハ前條第一項ノ申請書ニ之ヲ添附スヘシ

第二十四條 第十七條第二項第十三號乃至第十八號第二十二號乃至第二十七號又ハ第四項各號ノ事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テ變更ノ登録ヲ爲サントスル者ハ第十五條ノ申請ト同時ニ之ヲ爲スヘシ

第二十五條 船舶所有者ノ變更アリタルトキハ新所有者ハ申請書ニ變更ノ事實ヲ證スル登記ノ謄本、抄本又ハ登記濟證ヲ添附シテ變更ノ登録ヲ申請スヘシ

第二十六條 行政區畫、土地ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタルトキハ船舶原簿ニ記載シタル區畫、名稱又ハ番號ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス但第二十一條ノ場合ハ此限ニ在ラス

第二十七條 船舶法第十四條第一項ノ規定ニ依リ抹消ヲ登録ヲ爲サントスル者ハ申請書ニ登記濟證ヲ添へ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ之ヲ差出スヘシ

前項ノ場合及船舶法第十四條第二項ノ規定ニ依リ職權ヲ以テ抹消ノ登録ヲ爲シタル場合ニ於テ管海官廳ハ其船舶ノ登録用紙ヲ閉鎖ス

第二十七條ノ二 船舶法第十四條第二項ノ規定ニ依リ職權ヲ以テ抹消ノ登録ヲ爲シタルトキハ當該管海官廳ハ遲滞ナク左ノ事項ヲ船籍港ヲ管轄スル登記所ニ通知スヘシ

- 一 船舶ノ種類、名稱及總噸數又ハ積石數
- 二 船舶所有者ノ住所、氏名又ハ名稱
- 三 抹消ノ登録ヲ爲シタル原因
- 四 抹消ノ登録ヲ爲シタル年月日

第二十八條 船舶所有者ニ於テ登録ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ其旨ヲ疏

明シ登録ノ訂正ヲ申請スヘシ
管海官廳ニ於テ登録ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ其旨ヲ船舶所有者ニ通知スヘシ

第二十九條 何人ト雖モ手数料ヲ納附シテ船舶原簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ申請シ又利害ノ關係アル部分ニ限リ船舶原簿ノ閲覧ヲ請求スルコトヲ得
手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ船舶原簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得

第四章 船舶國籍證書及假船舶國籍證書

第三十條 管海官廳ニ於テ第十七條ニ依リ船舶ノ登録ヲ爲シタルトキハ第三號書式ノ船舶國籍證書ヲ申請者ニ交付ス

第三十一條 船舶國籍證書ニ記載シタル事項ノ變更ニ依リ該證書ノ書換ヲ申請セントスル者ハ變更ノ登録ノ申請ト同時ニ之ヲ爲スヘシ

第三十二條 第二十六條ノ規定ハ船舶國籍證書ニ記載シタル行政區畫、土地ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十三條 船舶國籍證書ノ毀損ニ依リ該證書ノ書換ヲ申請セントスル者ハ申請書ニ其事由ヲ記載シ船舶港ヲ管轄スル管海官廳ニ之ヲ差出スヘシ船舶國籍證書ノ滅失ニ依リ更ニ之ニ請受ケントスルトキ亦同シ

第三十四條 第三十一條又ハ前條ノ申請ヲ受ケタル管海官廳ハ船舶國籍證書ヲ調製シ之ヲ申請者ニ交付ス但第二十條第一項ノ場合ニ於テハ乙管海官廳之ヲ交付ス

第三十五條 船舶國籍證書ノ書換ヲ申請シタル場合ニ於テ其交付アリタルトキハ遲滯ナク舊證書ヲ返還スヘシ

第三十六條 船舶法第十三條ノ規定ニ依リ假船舶國籍證書ヲ請受ケントスル船長ハ申請書ニ其事由ヲ記載シ假船舶國籍證書ニ記載スヘキ事項ヲ證明スルニ必要ナル書類アルトキハ其書類ヲ添ヘ當該管海官廳ニ差出スヘシ

船舶國籍證書ノ毀損又ハ船舶國籍證書ニ記載シタル事項ノ變更ニ依リ前項ノ申請ヲ爲シタル場合ニ於テ假船舶國籍證書ノ交付アリタルトキハ遲滯ナク船舶國籍證書ヲ返還スヘシ假船舶國籍證書ノ様式ハ第四號書式ニ依ル

第三十七條 船舶法第十五條又ハ第十六條ノ規定ニ依リ假船舶國籍證書ヲ請受ケントスル者ハ第五號書式ノ申請書ニ所有權ノ取得ヲ證スル書面ヲ添ヘ當該管海官廳ニ差出スヘシ

第三十八條 假船舶國籍證書ノ有効期間ハ其船舶ノ船籍港ニ回航セントスル場合ニ於テハ到達スヘキ期間ヲ標準トシ其他ノ場合ニ於テハ船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ得ル期間ヲ標準トシ船舶法第十七條ニ定ムル期間ニ於テ當該管海官廳之ヲ定ム

第三十九條 假船舶國籍證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ申請書ニ新舊事項ヲ列記シ最寄管海官廳ニ之ヲ差出スヘシ

第四十條 假船舶國籍證書ハ其效力ヲ失ヒタルトキ又ハ船舶國籍證書ヲ請受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ最寄管海官廳ニ返還スヘシ

第四十一條 本章ノ規定ニ依リ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ヲ返還スヘキ場合ニ於テ之ヲ返還スルコト能ハサルトキハ其事由ヲ説明スヘシ

船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ滅失シタルトキ又ハ之ヲ返還スヘキ場合ニ於テ返還セザルトキハ管海官廳ハ其無効ナルコトヲ官報ニ公告ス

第四十二條 第二十八條ノ規定ハ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ニ記載シタル事項ニ錯
誤又ハ遺漏アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第五章 國旗及船舶ノ標示

第四十三條 船舶ハ左ノ場合ニ於テ國旗ヲ後部ニ掲クヘシ

- 一 帝國軍艦ヨリ要求セラレタルトキ
- 二 帝國ノ燈臺又ハ海岸望樓ヨリ要求セラレタルトキ
- 三 外國ノ港ヲ出入スルトキ
- 四 外國貿易船帝國ノ港ヲ出入スルトキ
- 五 法令ニ別段ノ定アルトキ

第四十四條 船舶ニ標示スヘキ事項及其方法ハ左ノ如シ但石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶
ニ付テハ第四十五條ノ規定ニ依ル

- 一 船首兩舷ノ外部ニ船舶ノ名稱、船尾外部ノ見易キ所ニ船舶及船籍港ノ名稱ヲ四吋以
上ノ國字及羅馬字ヲ以テ記スルコト
- 二 中央ノ船梁ニ船舶ノ番號、總噸數及登簿噸數ヲ彫刻シ又ハ其番號及噸數ヲ彫刻シタ
ル板ヲ釘著スルコト
- 三 船首材及船尾材、船尾材ナキトキハ舵柱ノ外部兩側面ヘ喫水ヲ示ス爲メ龍骨ノ下面
副龍骨ヲ有スルトキハ其下面直線ヨリ最大喫水ニ至ルマテニ呎毎ニ六吋ノ羅馬數字
又ハ亞刺比亞數字ヲ以テ其尺度ヲ記シ數字ノ下端ハ其數字ノ表示セル喫水線ト一致
スルコト

第四十五條 石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ハ前條ニ定メタル方法ニ依リ船尾ニ船舶及船

籍港ノ名稱、船梁ニ船舶ノ番號及積石數ヲ標示スヘシ

第四十七條 標示スヘキ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク其標示ヲ改ムヘシ

第六章 登録稅、手數料、旅費及日當

第四十八條 登録稅法ノ規定ニ從ヒ登録稅ヲ納付スルニハ左ノ區別ニ依リ相當ノ收入印紙
ヲ貼用シタル登録稅納付書ヲ登録ノ申請書ニ添ヘテ差出スヘシ

- 一 第十七條第一項ノ場合ニ於テハ登録稅法第四條第一項第一號
- 二 船舶ノ名稱、船舶所有者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ共有者ノ持分ノ變更ニ依リ登録
ヲ爲ス場合、第二十二條又ハ第二十四條ノ場合ニ於テハ登録稅法第四條第一項第四
號
- 三 第二十七條ノ場合ニ於テハ登録稅法第四條第一項第三號
- 四 船籍港變更ノ場合ニ於テハ登録稅法第四條第一項第二號

第四十九條 登録稅法第四條第一項第四號ニ付テハ第十七條第二項各號又ハ第四項各號ノ
事項ノ變更ヲ以テ每一箇トス

第五十條 登録稅納付書ニハ船舶ノ名稱、積量及稅金額ヲ記載シ登録稅法第四條第一項第
四號ノ場合ニ於テ變更ノ箇數ヲモ記載スヘシ

第五十一條 第二十九條ノ手數料ハ左ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ申請書ニ貼用シテ之ヲ
納付スヘシ

- 一 謄本ノ交付 一枚ニ付金貳拾錢
- 二 抄本ノ交付 一枚ニ付金貳拾錢
- 三 船舶原簿ノ閱覽 金貳拾錢

第五十二條 登録稅納付書又ハ前條ノ申請書ニ貼用シタル收入印紙ハ管海官廳ニ於テ消印ヲ爲スヘキモノトス但申請者ニ於テ自己ノ便宜上消印ヲ爲スハ妨ナシ

第五十二條ノ二 船舶法第十四條第二項ノ規定ニ依リ職權ヲ以テ抹消ノ登録ヲ爲シタル場合ニ於テハ當該管海官廳ハ左ノ事項ヲ船舶所有者ノ住所又ハ船舶管理人ノ住所ヲ管轄スル稅務署ニ通知スヘシ

- 一 船舶ノ種類名稱及總噸數又ハ積石數
- 二 船舶所有者又ハ船舶管理人ノ住所、氏名又ハ名稱
- 三 抹消ノ登録ヲ爲シタル年月日

四 登録稅額

第五十三條 船舶所有者ノ申請ニ依リ船舶検査執行地以外ニ検査官吏ノ出張シタルトキハ船舶所有者ハ成規ノ旅費及日當ヲ當該管海官廳ニ納付スヘシ

第七章 罰則

第五十四條 本則ノ規定ニ依リ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ヲ返還スヘキ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ其義務ヲ怠リタルトキハ船舶所有者ヲ貳拾五圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第五十五條 本則ハ船舶法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五十六條 明治二十六年(二月)遞信省令第三號、同年(三月)遞信省令第六號失踪船取扱規則、同年(同月)遞信省告示第八十五號及明治二十年(四月)遞信省令第三號登簿船免狀取扱規則ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

第五十七條 船舶法施行ノ際登簿船免狀又ハ船鑑札ヲ受有スル船舶ニシテ船舶法ノ規定ニ

依リ登録ヲ爲シ且船舶國籍證書ヲ請受クヘキモノノ所有者ハ登簿噸數十五噸以上又ハ積石數百五十石以上ノ船舶ニ付テハ船舶法施行ノ後始テ定期検査又ハ特別検査ヲ申請スルトキ當該検査官廳ニ、登簿噸數十五噸未滿ノ汽船及検査ヲ要セサル船舶ニ付テハ船舶法施行ノ日ヨリ起算シ二個年内ニ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ積量ノ測定ヲ申請スヘシ
前項ノ船舶ニシテ登簿船免狀又ハ船鑑札ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船舶所有者ハ前項ノ規定ニ拘ハラヌ遲滞ナク船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ前項ノ申請ヲ爲スヘシ

第五十八條 第十條及第十二條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依リ船舶ニ臨檢シタル検査官吏ハ積量ノ測定ノ一部ヲ省略スルコトヲ得
第五十九條 前條ノ規定ニ依リ積量ノ測定ヲ受ケタル船舶ノ所有者ハ遲滞ナク船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ登録及船舶國籍證書ノ交付ヲ申請スヘシ
前項ノ申請ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出シテ之ヲ爲スヘシ

- 一 船舶ノ番號、名稱及積量
- 二 船籍港
- 三 船舶共有者ニ在リテハ各共有者ノ住所、氏名又ハ名稱及持分

第六十條 前條ノ申請書ニハ左ニ掲クル書面ヲ添附スヘシ

- 一 登記ノ謄本
- 二 機關ヲ有スル船舶ニ在リテハ汽機及汽鐘ノ製造者ニ於テ其ノ製造ノ年月日ヲ證スル書面
- 三 船鑑札ヲ受有スル船舶ニ在リテハ當該地方官廳ニ於テ原名、製造地、進水ノ年月日

及造船者ノ氏名又ハ名稱ヲ證スル書面

第六十一條 管海官廳ニ於テ第五十九條ノ申請ニ依リ登録ヲ爲ストキハ登簿船免狀又ハ船鑑札ニ記載シタル製造年月ヲ以テ進水ノ年月日ト看做ス

第六十二條 登簿船免狀ヲ受有スル船舶ノ所有者船舶國籍證書ヲ請受ケタルトキハ遲滯ナク該免狀ヲ最寄管海官廳ニ返還スヘシ

船鑑札ヲ受有スル船舶ノ所有者船舶國籍證書ヲ請受ケタルトキハ遲滯ナク該鑑札ヲ原地方官廳ニ返還スヘシ

第六十三條 第五十四條ノ罰則ハ前條ノ義務ヲ怠リタル船舶所有者ニ之ヲ適用ス

第六十四條 船舶法施行ノ際登簿船免狀又ハ船鑑札ヲ受有スル船舶ハ登録ヲ了ルマテ第四十四條又ハ第四十五條ノ標示ヲ爲ササルコトヲ得

第六十五條 第四十條及第五十四條ノ規定ハ船舶法施行ノ際受有スル假免狀ニ之ヲ適用ス
(書式ハ之ヲ略ス)

◎船舶法取扱手續

(明治三十三年七月 逓信省公達第三百六十三號)

第一章 總則

第一條 船舶法施行細則ノ規定ニ依リ左ノ書類ヲ差出スヘキ場合ニ於テ之ヲ差出スコト能ハサル者アルトキハ書面ヲ以テ其ノ事由ヲ疏明セシメ管海官廳ニ於テ正當ノ事由アリト認メタルトキハ之ヲ差出スコトヲ免除スルコトヲ得

一 船舶法施行細則第八條第二項又ハ第三項ノ書面

二 船舶法施行細則第六十條第二號又ハ第三號ノ書面

前項ノ書類中ニ地方長官ノ委任ヲ受ケタル郡長若ハ島司又ハ地方長官ノ訓令ヲ受ケタル市町村長ノ證明書アルトキハ地方長官又ハ地方官廳ノ證明書トシテ取扱フヘシ

第二條 船舶ノ登録ヲ爲シ又ハ船舶國籍證書若ハ假船舶國籍證書ヲ調製スル場合ニ於テ不明ノ事項アルトキハ其ノ欄内ニ不詳ト記載スヘシ

第三條 船舶ノ登録ヲ爲シ又ハ船舶國籍證書、假船舶國籍證書、其ノ英譯書、船舶件名書

積量測定表、臨檢報告書若ハ各種ノ謄本ヲ調製スルニハ字畫ヲ明瞭ニシ數字ハ壹貳參拾

ノ字ヲ用ウヘシ但シ積量測定表ニ尺度及積量ヲ記載スルニハ亞刺比亞數字ヲ用ウヘシ

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス且船舶國籍證書、假船舶國籍證書及其ノ英譯書ノ文字ハ

訂正、挿入又ハ削除ヲモ爲スコトヲ得ス

文字ヲ訂正、挿入又ハ削除スルニハ其ノ字數ヲ欄外適當ノ場所ニ記載シ當該官吏之ニ捺

印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ尙讀ミ得ヘキ様朱抹スヘシ但シ船舶ノ登録ヲ爲ストキハ欄外

明治三十四年
十二月公達第
七百三十三號
第三十五號
施行

第四條 管海官廳ニ於テ船舶法施行細則第四條ノ規定ニ依リ船舶航行ノ認可ヲ與フルトキハ第一號書式ノ航行認可書ヲ交付スヘシ

第五條 検査官吏船舶法施行細則ノ規定ニ依リ船舶ニ臨檢シ船舶件名書、積量測定表又ハ臨檢報告書ヲ調製シタルトキハ管海官廳ハ其ノ都度遲滞ナク其ノ謄本ヲ遞信省ニ送付スヘシ

第六條 何時タリトモ検査官吏ニ於テ船舶ニ臨檢シタルトキハ船舶ノ標示ノ適法ナルヤ否ヤヲ注意スヘシ

第七條 登録稅法第四條第一項ノ登録稅、船舶法施行細則第二十九條ノ手数料又ハ郵送料ハ官廳ニ對シテハ之ヲ徵收セサルモノトス

第二章 積量ノ測定
第八條 管海官廳ニ於テ船舶法施行細則第八條ノ規定ニ依リ積量測定申請書ヲ受ケタルトキハ申請書ニ記載シタル事項ヲ同條第二項又ハ第三項ニ依リテ差出シタル書面ト對照シ若差違アルトキハ申請書ヲ補正セシムヘシ

第九條 船舶件名ノ調査ハ積量ノ測定ヲ爲ストキ之ヲ爲スヘシ
第十條 左ノ條件ヲ具備スル船舶ハ噸數ヲ以テ積量ヲ表示シ之ヲ具備セサル船舶ハ石數ヲ以テ積量ヲ表示スヘシ

一 肋ヲ有スルコト
二 甲板梁及甲板ヲ有スルコト
三 船尾材ヲ有シ之ニ舵ヲ取附クルコト

第十一條 検査官吏船舶法施行細則第十二條又ハ第十五條第二項ノ規定ニ依リ船舶ニ臨檢シタルトキハ積量測定表ヲ調製スヘシ
船舶法施行細則第十五條第二項ノ場合ニ於テハ變更シタル部分ノミヲ積量測定表ニ記入スヘシ

第十二條 管海官廳ニ於テ船舶法施行細則第十四條第二項又ハ第十五條第二項ノ規定ニ依リ船舶件名書ヲ送付スルトキハ積量測定表ヲ添附スヘシ

第十三條 検査官吏ハ船舶法施行細則第十六條ノ場合ニ於テモ亦積量測定表ヲ調製スヘシ前項ノ場合ニ於テハ検査官吏ハ船舶件名書及積量測定表ニ測定シ得タル事項ノミヲ記載シ其ノ他ノ事項ヲ記載スヘキ場所ニハ斜線ヲ畫スヘシ

管海官廳ニ於テ船舶法施行細則第十六條第二項ノ規定ニ依リ船舶件名書ノ謄本ヲ部分測定ノ申請人ニ交付スルトキハ前項ノ積量測定表ノ謄本ヲ之ニ編綴スヘシ

第十四條 船舶法施行細則第八條ノ規定ニ依リ船舶ノ積量ノ測定ヲ申請スル者同則第十六條第三項ノ規定ニ依リ船舶件名書ノ謄本ヲ申請書ニ添附シテ差出シタル場合ニ於テハ當該検査官吏ハ其ノ書類ニ記載シタル事項ニ付測定ヲ省略スルコトヲ得

第十五條 船舶件名書又ハ積量測定表ノ謄本ヲ作ルニハ原本ノ用紙ヲ用キ原本ニ依リテ謄寫シタル旨其ノ年月日及當該官吏ノ官氏名ヲ記載シテ之ニ捺印スヘシ

第十六條 積量ヲ測定スルニ當リ構造不規則ナルトキハ遞信省ニ送付スル船舶件名書又ハ積量測定表ノ謄本ノ欄外又ハ附箋ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第三章 船舶ノ登録
第十七條 船舶原簿ハ左ノ三種ニ分チ遞信省ニ於テ之ヲ調製シ各管海官廳ニ之ヲ配付ス
一 甲種船舶原簿

二 乙種船舶原簿
三 丙種船舶原簿

甲種船舶原簿ハ汽船及機關ヲ有スル帆船乙種船舶原簿ハ帆船丙種船舶原簿ハ石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ヲ登録スルモノトス

第十八條 管海官廳ニ於テ各事項ヲ船舶原簿ニ登録スルニハ次ノ規定ニ從フヘシ

左ノ事項ハ積量測定申請書ヲ基礎トスヘシ

- 一 船舶ノ名稱
- 二 船籍港
- 三 造船者ノ氏名又ハ名稱
- 四 製造地
- 五 進水ノ年月日
- 六 汽機製造者ノ氏名又ハ名稱
- 七 汽機製造ノ年月日
- 八 汽製鐵造者ノ氏名又ハ名稱
- 九 汽罐製造ノ年月日
- 十 原名
- 左ノ事項ハ船舶件名書ヲ基礎トスヘシ
 - 一 甲板ノ層數及種類
 - 二 外板ノ材料
 - 三 船骨ノ材料

- 四 櫓ノ數
- 五 網具ノ裝置
- 六 船首ノ形狀
- 七 船尾ノ形狀
- 八 造船規程ニ定ムル方法ニ依リテ測リタル長
- 九 船舶積量測定方法ニ依ル量噸甲板下ノ長
- 十 船首ノ内面ヨリ船尾ノ内面ニ至ル船底水平ノ長
- 十一 造船規程ニ定ムル方法ニ依リテ測リタル幅
- 十二 船體最廣部ニ於テ内張板ノ内面ヨリ内面マテノ幅
- 十三 船體最廣部ニ於テ外板ノ内面ヨリ内面マテノ幅
- 十四 造船規程ニ定ムル方法ニ依リテ測リタル深
- 十五 船舶積量測定方法ニ依ル量噸甲板下ノ長ノ中央ニ於テ該甲板ノ下面ヨリ船底内張板ノ上面マテノ深
- 十六 腰當梁ノ中央ニ於テ其ノ上面ヨリ航ノ上面マテノ深
- 十七 支水隔壁ノ數
- 十八 二重底ノ位置及容量
- 十九 最大喫水
- 二十 總噸數
- 二十一 登簿噸數
- 二十二 積石數

- 二十三 汽機ノ種類及數
 - 二十四 汽鐘ノ種類及數
 - 二十五 汽鐘ノ材料
 - 二十六 汽笛ノ數
 - 二十七 汽笛ノ徑
 - 二十八 汽笛ノ行長
 - 二十九 推進器ノ種類及數
 - 三十 公稱馬力
- 左ノ事項ハ積量測定表ヲ基礎トスヘシ
- 一 量噸甲板下部ノ噸數
 - 二 量噸甲板上部ノ噸數
 - 甲板間ノ噸數
 - 船首樓ノ噸數
 - 船橋樓ノ噸數
 - 船尾樓ノ噸數
 - 圓室ノ噸數
 - 其他蔽圍セル場所ノ噸數
- 三 船員常用室ノ噸數
 - 四 機關室ノ噸數
- 所有者ノ氏名又ハ名稱及住所並共有者ノ持分ハ登記ノ謄本ヲ基礎トスヘシ

第十九條 船舶法施行細則第十七條第一項ノ規定ニ依リ差出シタル登記ノ謄本ニ記載シタル事項カ積量測定申請書又ハ船舶件名書ニ記載シタル事項ト符合セサルトキハ之ヲ調査シ申請書又ハ件名書ニ誤謬アリタルトキハ之ヲ訂正セシメ又ハ之ヲ訂正シ又登記ニ誤謬アリタルトキハ申請者ヲシテ登記更正ノ手續ヲ爲サシメタル後登録ヲ爲スヘシ

第二十條 各管海官廳ニ於テ船舶ニ附スヘキ番號及信號符字ハ豫メ逕信省ヨリ之ヲ配付ス管海官廳ニ於テハ登録スヘキ船舶ノ種類ノ何タルヲ問ハス登録ノ順序ニ從ヒ各船舶毎ニ配付ヲ受ケタル番號及信號符字ヲ附スヘシ但シ石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニハ信號符字ヲ附セサルモノトス從來ノ船舶ニシテ既ニ番號及信號符字ノ定マレルモノニ付テハ船舶法施行ノ後ト雖モ之ヲ改ムヘカラス

新ニ登録ヲナシタルトキハ信號符字ヲ申請者ニ通知スヘシ

第二十一條 船舶法施行細則第十七條ノ規定ニ依リ船舶原簿ニ各事項ヲ登録スルニハ同則第一號書式及第二號書式ニ示シタル各事項記載ノ振合ニ依ルヘシ但シ第二十二條ニ於テ別ニ記載ノ方法ヲ定メタルモノハ此限ニ在ラス

第二十二條 番號ノ欄ニハ數字ノミヲ記載スヘシ例ヘハ第二千三百四十號ハ貳參四〇ト記載スルカ如シ

信號符字ハ左方ヨリ記入スヘシ

進水ノ年月日ハ日ノ分明ナラサルトキハ月ニ止メ月ノ分明ナラサルトキハ年ノミヲ記載スヘシ

船籍港及内國ニ於ケル製造地ヲ記載スルニハ市ニ付テハ單ニ何市ト記シテ府縣國郡名ヲ省略シ町村其ノ他之ニ類スル區畫ニ付テハ何國何郡何町村ト記シ府縣名ヲ省略スヘシ

住所ヲ記載スルニハ前項ノ振合ニ依リ何市又ハ何町村ノ下ニ區名、町名及番地ヲ記載スヘシ

支水隔壁ノ數ハ單ニ數字ノミヲ記載スヘシ

船舶共有者ノ持分ハ共有者ノ氏名又ハ名稱ノ上ニ何分ノ何ト記載スヘシ但シ持分相等シキトキハ此ノ限ニ在ラス

振假名ハ船舶ノ名稱ノミニ附記スヘシ

總テ外國文字ハ船舶原簿ニ記入セサルモノトス但シ信號符字ハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 船舶共有者多數ニシテ船舶原簿ノ當該欄内ニ記入ヲ了スルコト能ハサルトキハ共同人名簿ヲ製シ置キ原簿ニハ筆頭ノ者ノ住所、氏名又ハ名稱及外何人ト記載シ置キ

共同人名簿ニハ筆頭以外ノ者ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ記載シ且其ノ船舶ノ登録用紙ノ番號ト船舶ノ名稱トヲ表記スヘシ

第二十四條 總テ登録ヲ爲ストキハ用紙中登録年月日ノ欄ニ登録ヲ爲シタル年月日ヲ記載スヘシ

第二十五條 始テ船舶ヲ登録スルトキハ記事欄ニ新造又ハ何國人何某ヨリ買受ケタル旨其ノ他船舶ノ國籍ヲ取得シタル原因ヲ記載スヘシ

第二十六條 登録ヲ了リタルトキハ其ノ都度用紙ノ欄外上部左隅ノ白地ニ亞刺比亞數字ヲ以テ用紙ノ番號ヲ附記スヘシ

第二十七條 變更ノ登録ヲ爲スニハ舊事項ヲ朱抹シ左ノ規定ニ從ヒテ新事項ヲ記載シ記事欄ニ變更ノ事由ヲ記載スヘシ

一 始テ變更ノ登録ヲ爲ス場合ニハ朱抹シタル欄ノ次ノ欄ニ新事項ヲ記載スヘシ

二 第二回ニ變更ノ登録ヲ爲ス場合ニハ前號ニ依リ記載シタル次ノ欄ニ新事項ヲ記載スヘシ第三回以後總テ之ニ倣フ

第二十八條 一ノ船舶ニ付屢々變更ノ登録ヲ爲シタル爲メ該船舶ノ登録用紙ニ餘白ナキニ至リタルトキハ其ノ登録ヲ順序ヲ追フテ新ナル用紙ニ移スヘシ此ノ場合ニ於テハ前ノ用紙ノ末尾ノ記事欄ニ何號用紙ニ移シタル旨ヲ附記シ後ノ用紙ノ最初ノ記事欄ニ何號用紙ヨリ移シタル旨ヲ附記スヘシ

第二十九條 船舶法施行細則第二十條又ハ第二十一條ノ場合ニ於テ乙管海官廳カ船舶原簿ニ登録ヲ移シタルトキハ記事欄ニ船舶法施行細則第何條ニ依リ何管海官廳ヨリ編入シタル旨並船舶法施行細則第二十條ノ場合ニハ舊船籍港名ヲ記載スヘシ

第三十條 登録ヲ爲シタル官吏ハ記事欄ニ爲シタル記載ノ末尾ニ捺印スヘシ

第三十一條 登録用紙ヲ閉鎖スルニハ記事欄ニ閉鎖ヲ爲シタル事由及何年何月何日閉鎖シタル旨ヲ記載シ其記載事項ヲ除クノ外各欄ニ記載シタル事項ヲ朱抹スヘシ

第三十二條 管海官廳ハ船舶ノ登録ヲ爲シタルトキハ五日以内ニ遞信大臣ニ報告書ヲ差出スヘシ

前項ノ報告書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 始テ登録ヲ爲シタルトキハ原簿ノ謄本

二 變更ノ登録ヲ爲シタルトキハ原簿ノ謄本又ハ船舶ノ番號、種類、名稱、變更ニ係ル新舊事項、登録ノ日附、用紙番號及記事欄ノ記事ヲ抄寫シタル原簿ノ抄本

三 抹消ノ登録ヲ爲シタルトキハ船舶ノ番號、種類、名稱、所有者ノ氏名又ハ名稱、登録ノ日附、用紙番號及記事欄中抹消ニ係ル記事ヲ抄寫シタル原簿ノ抄本

二二五

四 船舶法施行細則第二十條若ハ第二十一條ノ場合又ハ同一管海官廳ノ管轄區域内ニ於ケル船籍港變更ノ登録ヲ爲シタルトキハ船舶ノ番號、種類、名稱、船籍港、所有者ノ氏名又ハ名稱登録ノ日附、用紙番號及當該記事欄ノ記事ヲ抄寫シタル原簿ノ抄本

前項ノ場合ニ於テハ謄本又ハ抄本ニ記載スヘキ事項ヲ報告書ニ記載シテ謄本又ハ抄本ヲ添附セサルモ妨ナシ

石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ付テハ抄本中用紙番號ノ側ニ(石數船)ト記載シ抄本ヲ添附セサル場合ニハ報告書ニ石數船ナルコトヲ記載スヘシ

第三十三條 船舶法施行細則第二十條及第二十一條ノ場合ニ於テハ乙管海官廳ニ於テ前條ノ報告ヲ爲スヘシ

第三十四條 船舶法施行細規第二十條第一項ノ申請ト同時ニ船籍港以外ノ登録事項ニ付變更ノ登録ノ申請アリタルトキハ管海官廳ハ船籍港以外ノ登録事項ニ付變更ノ登録ヲ爲シタル上同條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十五條 登録ニ關スル申請書、件名書、測度表其ノ他一切ノ附屬書類ハ各船舶毎ニ一括ト爲シ何船舶ノ附屬書類タルコトヲ表示シテ抹消ノ登録ヲ爲スマテ之ヲ保存シ抹消ノ登録ヲ爲シタルトキハ遞信省ニ送付スヘシ

第三十六條 船舶法施行細則第十九條第一號又ハ第三號ニ依リ船舶ノ名稱變更ノ許可ヲ受ケントスル者アリタルトキハ管海官廳ハ其都度申請書ノ寫ニ意見書ヲ添ヘテ之ヲ遞信大

臣ニ差出シ指揮ヲ請フヘシ

第三十七條 管海官廳ニ於テ船舶法施行細則第十九條第二號ニ依リ船舶ノ名稱ノ變更ヲ許可シ變更ノ登録ヲ爲シタル場合ニ於テハ許可ヲ爲シタル理由ヲ記載シタル書面ヲ第三十二條ノ報告書ニ添ヘテ差出スヘシ

前項ノ理由ハ第三十二條ノ報告書ニ記載スルモ妨ナシ

第三十八條 船舶法施行細則第二十三條ノ臨檢報告書ニハ左ノ事項ヲ記載シ臨檢ヲ爲シタル検査官吏之ニ捺印スヘシ

- 一 船舶ノ番號、種類、名稱、積量及船籍港
- 二 船舶所有者又ハ共有者ノ氏名又ハ名稱
- 三 變更ニ係ル新舊事項
- 四 臨檢ヲ爲シタル場所及年月日
- 五 臨檢ヲ爲シタル検査官吏ノ官氏名

第二十九條 船舶法施行細則第二十八條ノ規定ニ依リ登録ノ訂正ヲ爲シタルトキハ何字ヲ訂正シタル旨、訂正ノ事由及年月日ヲ記事欄ニ記載シ其ノ末尾ニ捺印シ削除ニ係ル文字ハ尙讀ミ得ヘキ様朱抹スヘシ

登録ノ訂正ヲ爲シタルトキハ五日以内ニ訂正ニ係ル船舶ノ番號、種類(汽、帆、石數船ノ別)、名稱、新舊事項、所有者ノ氏名又ハ名稱、用紙番號及記事欄ノ記載事項ヲ遞信大臣ニ報告スヘシ

第四十條 管海官廳カ本手續ノ規定ニ依リ遞信大臣ニ送付スル原簿ノ謄本、抄本又ハ登録訂正ノ報告中氏名又ハ名稱アルトキハ振假名ヲ附記シ外國ノ名稱アルトキハ外國文字ヲ

第四十一條 船舶原簿ノ謄本ヲ作ルトキハ當該官吏ニ於テ其ノ用紙ノ末尾ニ官氏名ヲ記載シテ捺印スヘシ

第四十二條 管海官廳ニ於テハ船舶原簿見出帳ヲ調製シ登録ヲ爲シタル各船舶ノ索引ニ供スヘシ

第四十三條 船舶原簿及附屬書類ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除ク外管海官廳以外ニ持出スコトヲ得ス

第四章 船舶國籍證書及假船舶國籍證書

第四十四條 船舶國籍證書及假船舶國籍證書ノ用紙ハ遞信省ニ於テ之ヲ調製シ各管海官廳ニ之ヲ配付ス

第四十五條 船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ニ各事項ヲ記載スルニハ第二十一條及第二十二條ノ例ニ依ルヘシ所有者又ハ共有者ノ欄ニハ住所及共有者ノ持分相等シキ場合ヲ除ク外其ノ持分ヲモ記載スヘシ船舶國籍證書及假船舶國籍證書ニハ振假名及外國文字ヲ記入スヘカラス

第四十六條 船舶國籍證書、假船舶國籍證書及其ノ英譯書ニハ末尾ニ當該管海官廳名ヲ記入シ其ノ下ニ廳印ヲ捺印スヘシ

第四十七條 船舶國籍證書ヲ調製シタルトキハ其ノ記載事項ヲ船舶原簿ニ對照シ毫モ差違ナキコトヲ期スヘシ若誤記アリタルトキハ更ニ之ヲ調製スヘシ

第四十八條 船舶國籍證書ヲ書換又ハ再授スル場合ニ於テハ證書ニ之ヲ作成シタル年月日ヲ記載シ其ノ下部ニ書換又ハ再授ト朱記スヘシ

第四十九條 第三十四條ノ場合ニ於ケル船舶國籍證書ノ交付ハ船舶法施行細則第三十四條但書ノ規定ニ依ルヘシ

第五十條 管海官廳ニ於テ船舶法施行細則第三十七條ノ規定ニ依リ假船舶國籍證書ヲ交付スルトキハ同時ニ所有權ノ取得ヲ證スル書面ヲ還付スヘシ

第五十一條 船舶法施行細則第四十一條第二項ノ規定ニ依リ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ無効ナルコトヲ官報ニ公告セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シ遞信省ニ差出スヘシ

一 船舶ノ番號、種類(汽、帆、石數船ノ別)及名稱

二 船舶國籍證書及假船舶國籍證書ノ區別

三 所有者又ハ共有者ノ氏名又ハ名稱及共有者ノ持分相等シキ場合ヲ除ク外其ノ持分官報掲載ノ手續ハ遞信省ニ於テ之ヲ行フ

第五十二條 管海官廳ニ於テ船舶國籍證書ノ返還ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ證書カ他ノ管海官廳ヨリ交付シタルモノナルトキハ遲滞ナク其ノ船舶ノ番號、種類、名稱、證書ヲ返還シタル事由及其ノ年月日ヲ交付官廳ニ通知シ其ノ證書ハ之ヲ廢棄スヘシ若其ノ證書カ返還ヲ受ケタル官廳ヨリ交付シタルモノナルトキハ直ニ廢棄ノ手續ヲ爲スヘシ

管海官廳ニ於テ假船舶國籍證書ノ返還ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ船舶ハ現ニ他ノ管海官廳ニ登録セラレタルモノナルトキハ其ノ管海官廳ニ前項ノ通知ヲ爲スヘシ其ノ他ノ手續ハ前項ノ規定ニ依ル

第五十三條 船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ英譯書ノ交付ヲ請求スル者アルトキハ其證書ノ廢棄ハ紋章ヲ切取リ官廳ノ印ニ消印ヲ捺捺シテ之ヲ爲スモノトス

ノ事由ヲ取札シ必要ナリト認ムルトキハ之ヲ交付スヘシ
前項ノ英譯書ハ遠洋航船及船舶検査法ノ規定ニ依リ外國ニ航行スルコトヲ得ル近海航船
ニアラザレハ之ヲ交付スルコトヲ要セス

第五十四條 前條ノ英譯書ノ用紙ハ遞信省ニ於テ之ヲ調製シ各管海官廳ニ之ヲ配付ス
英譯書ノ記載方ハ別ニ之ヲ定ム

第五十五條 英譯書ノ交付ヲ受ケタル船舶ノ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ返還ヲ受
ケタルトキハ管海官廳ハ同時ニ其英譯書ヲモ返還セシムヘシ

第五十六條 管海官廳ハ船舶國籍證書、假船舶國籍證書及其英譯書ノ交付簿ヲ調製シ各船
舶毎ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 船舶ノ番號、種類及名稱

二 船舶國籍證書、假船舶國籍證書及其ノ英譯書ノ交付又ハ書換ヲ爲シタルコト其ノ
事由及年月日

三 船舶國籍證書、假船舶國籍證書及其ノ英譯書ノ返還ノ事由及年月日

第五十七條 管海官廳ハ別ニ定ムル所ニ依リ前三箇月間ニ使用シタル船舶國籍證書、假船
舶國籍證書及其ノ英譯書ノ用紙員數ヲ翌月七日マテニ遞信省ニ報告スヘシ

附則

第五十八條 検査官吏ニ於テ船舶法施行細則第五十八條ノ規定ニ依リ船舶ニ臨檢シタルト
キハ從來既ニ登録セラレタル事項ニ付テハ其ノ調査ヲ省略シ新ニ登録スヘキ事項ニ付テ
ハ精密ニ調査スヘシ但シ從來登録セラレタル事項ト雖モ正確ナラサル疑アルトキハ必ス
之ヲ調査スヘシ

第五十九條 船舶法施行細則第五十八條ノ規定ニ依リ臨檢ヲ爲シタル検査官廳ト船籍港ヲ
管轄スル管海官廳ト同一ナラザル場合ニ於テハ検査官廳ハ遲滞ナク積量測定申請書、船
舶件名書、積量測定表及其ノ他一切ノ附屬書類ヲ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ送付スヘ
シ但シ測定表ニハ船舶法施行細則第五十八條第二項ニヨリ省略セシ部分ヲ記載スルニ及
ハス

第六十條 船舶法施行細則第五十八條第二項ノ規定ニ依リ測定ノ一部ヲ省略シタルトキ又
ハ造船規程ニ定ムル方法ニ依リテ測リタル長幅深ノ三點ノミヲ測リ積量測定表ヲ調製セ
サルトキハ第五條ニ依リ本省へ送付スル船舶件名書ノ謄本、其ノ送付書又ハ附箋ニ其ノ
船舶ノ番號、船籍港、所有者ノ氏名又ハ名稱ヲ記入スヘシ
第六十一條 管海官廳ニ於テ船舶法施行細則第五十九條第一項ノ申請ニ依リ登録ヲ爲ス場
合ニ於テ船舶原簿ニ記載ヲ爲スニハ左ノ書類ヲ基礎トスヘシ

- 一 船舶法施行細則第五十九條第二項ノ申請書
- 二 船舶法施行細則第六十條ノ書面
- 三 船舶法施行細則第五十八條ノ規定ニ依リ検査官吏ノ作リタル船舶件名書及積量測
定表

前項ノ書類ニ記載セサル事項ニ付テハ從來ノ登録簿原簿ノ寫ニ記載シタル事項ヲ基礎ト
スヘシ

第六十二條 前條ニ依リ登録シタル船舶原簿ノ謄本ヲ第三十二條ニ依リ遞信大臣ニ差出ス
ニ當リ前條第二項ニ依リ基礎トシタル事項ニ變更ヲ生シ若ハ訂正ヲナシタル場合ニハ其
ノ事由ヲ其ノ欄外又ハ附箋ニ記載スヘシ

第六十三條 登簿船免狀ノ處分ニ關シテハ船舶法施行細則第四十一條第二項及本手續第五十一條第五十二條ノ規定ヲ準用スヘシ但シ本手續第五十二條ニ交付官廳トアルハ此ノ場合ニ於テハ船舶籍港ヲ管轄スル管海官廳ヲ指スモノトス

第六十四條 登簿船免狀ヲ受有スル船舶ニシテ船舶法施行細則第五十九條ニ依リ登録ヲ申請スルトキハ新規登録稅ヲ徵收スヘカラス

第六十五條 登簿船免狀ヲ受有スル船舶ニシテ船舶法第三十七條第一項及同施行細則第五十九條ノ規定ニヨリ登録ノ申請ヲナシタル場合ニ於テ登簿船原簿ニ登録セル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ官ノ誤記又ハ誤測ニ起因セサル限り同施行細則第四十八條第二號以下ニヨリ登録稅ヲ徵收スヘシ

第六十六條 登簿船免狀又ハ船鑑札ヲ受有スル船舶ニシテ甲管海官廳ノ管内ヨリ乙管海官廳ノ管内ニ船舶籍港ヲ變更スル場合又ハ之ト同時ニ船舶籍港以外ノ登録事項ニ付變更ヲ生シタル場合ニ於テハ積量ノ測定ハ甲管海官廳ニ申請セシムヘシ

前項ノ積量ノ測定ニ關シテハ船舶法施行細則第九條及第十四條ノ規定ヲ準用ス但シ乙管海官廳カ測定ノ囑託ヲ受ケタル場合ニ於テハ船鑑札受有船ニ在テハ船舶件名書等ヲ送付セシメテ測定ヲ結了シタルコト及其船舶ノ總噸數又ハ積石數ヲ甲管海官廳ニ通知スヘシ

前二項ノ規定ニ依リ測定ヲ結了シタルトキハ甲管海官廳ニ登録及船舶國籍證書ノ交付ヲ申請セシメ甲管海官廳ハ登簿船免狀受有船ニ在テハ船舶原簿ニ一旦登録シタル後船舶法施行細則第二十條第二項第三項ノ手續ヲ爲シ船鑑札受有船ニ在テハ船舶原簿ニ登録スルコトナク單ニ關係書類ヲ乙管海官廳ニ移送スヘシ乙管海官廳ハ之ニ據リ船舶原簿ニ登録

シ船舶國籍證書ヲ交付スヘシ

第六十七條 前條第三項ノ場合ニ於テハ甲管海官廳ハ船舶國籍證書ヲ交付スルノ限ニアラス

第六十八條 船舶法施行細則第五十九條ニヨリ始テ原簿ニ登録ヲナストキハ第一欄ニ記入シ其ノ記事欄ニ「船舶法施行細則第五十九條ニヨリ登録ス」ト記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テ積石數ヲ噸數ニ改算シタル船舶ナルトキハ「船舶法施行細則第五十九條ニヨリ登録ス但シ検査ノ上積石數ヲ噸數ニ改算シタルモノ」ト記載スヘシ

第六十九條 船舶法施行細則第六十條第一號ノ登記簿本ニ記載シタル事項カ積量測定申請書又ハ船舶件名書ニ記載シタル事項ト符合セサルトキハ本手續第十九條ノ手續ヲ準用スヘシ船舶法施行細則第六十條第三號ノ證明書ト積量測定申請書ト符合セサルトキ亦同

(第一號書式)

航行認可書

住所

所有者又ハ共有者

氏名

名

汽船何丸

右船舶法施行細則第四條第何號ノ規定ニ依リ何地ヨリ何地マテ航行セシムルコトヲ認可ス此ノ認可書ハ明治何年何月何日限リ無効トス

明治何年何月何日

管海官廳名印

◎船鑑札規則 (明治二十九年十二月 逓信省令第二十五號)

第一條 登簿船免狀ヲ受有スルニ及ハサル船舶ハ左ニ記載スルモノヲ除ク外船鑑札ヲ受有スヘシ

- 一 航行ノ用ニ供セサル船舶
 - 二 登簿噸數五噸未満若ハ積石數五十石未満ノ帆船
 - 三 櫓權ノミヲ以テ運航シ若ハ主トシテ櫓權ヲ以テ運航スル船舶
- 第二條 第一條ノ船鑑札ヲ受有セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル件名書ヲ添附シ本船定案所ヲ管轄スル地方官廳ニ其ノ下付ヲ申請スヘシ

- 一 船名
- 二 定案所
- 三 船ノ種類(汽船若ハ帆船等)
- 四 船貨(鐵、銅若ハ木)
- 五 櫓數
- 六 製造地名
- 七 製造年月
- 八 造船工長氏名
- 九 船ノ原名(若シアラハ)
- 十 所有者ノ氏名住所
- 十一 尺度(量噸甲板最大ノ長、内法リ最大ノ幅、艙室ニ於テ量噸甲板ヨリ船底中央

ノ内板ニ至ル深)

- 十二 總噸數
 - 十三 登簿噸數
 - 十四 公稱馬力(汽船ニ在テハ)
- 日本形船舶ノ件名書ニハ第十一號以下ノ事項ヲ除キ積石數ヲ記載スヘシ
- 第三條 地方官廳ニ於テ第二條ノ申請書ヲ受ケタルトキハ件名書ニ記載シタル事項ヲ審査シ第一號書式若ハ第二號書式ノ船鑑札ヲ下付スヘシ
- 第四條 船鑑札ハ船舶ニ備ヘ置キ本船管理者之ヲ保管シ當該官吏ニ於テ檢閲ヲ要スルトキハ之ヲ提供スヘシ
- 第五條 船鑑札ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ事由ヲ疏明シ三十日以内ニ船鑑札ノ書換ヲ申請スヘシ但所有者ノ變更シタル場合ニハ其ノ申請書ニ之ニ關スル證明ヲ具備スヘシ
- 定案所ヲ移轉シ本船管轄官廳ヲ變更スルニ至リタルトキハ三十日以内ニ舊管轄官廳ニ船鑑札ヲ返納シ且件名書ヲ添附シテ其證明ヲ申請シ舊管轄官廳ニ於テ件名書ノ證明ヲ付與シテヨリ三十日以内ニ之ヲ添附シ新管轄官廳ニ船鑑札ノ下付ヲ申請スヘシ
- 第六條 船鑑札ヲ亡失若ハ毀損シタルトキハ管轄官廳ニ其ノ再授ヲ申請スヘシ
- 第七條 船舶破壊、喪失、失踪、解散ニ歸シタルトキ若ハ日本船舶タル資格ヲ失ヒタルトキ又ハ登簿船免狀ヲ受有スヘキ船舶ト爲リタルトキハ其ノ事由ヲ疏明シ三十日以内ニ管轄官廳ニ船鑑札ヲ返納スヘシ
- 第八條 第一條第四條第五條第七條ニ違背シタル者ハ貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第九條 此ノ規則ハ明治三十年一月一日ヨリ施行ス
 第十條 此ノ規則施行ノ際現在ノ船舶ハ船稅規則ニ由リ從來受有シタル船鑑札ヲ以テ此ノ規則ニ定ムル船鑑札ニ代用スルコト得
 第一號書式(西洋形船舶ニ下付スルモノ)

第、號	定製所、國、
(汽) 船、丸	長、尺
	深、尺
船鑑札 總噸數、噸	
淨噸數、噸	
(公稱馬力)、馬力、	
製、橋、年、月製造	
所有者住所 氏 名	

裏

年、月、日下付
地方官廳名
印烙

表

第、號	定製所、國、
日本形船、丸	
船鑑札	積石、石
橋、年、月製造	
所有者住所 氏 名	

第二號書式(日本形船舶ニ下付スルモノ)

備考

- 一 船鑑札寸法ハ曲尺五寸幅三寸厚及本品ノ適宜トス
- 一 第二號書式船鑑札ノ裏面ハ第一號書式船鑑札ノ裏面ニ同ク

◎船鑑札規則施行手續

(明治二十九年十二月) 國信省訓令第四號

北海道廳 府縣

第一條 地方官廳ハ船鑑札臺帳ヲ備置キ船鑑札規則ニ據リ船鑑札ヲ受有スル船舶ノ件名、船鑑札ノ番號及其ノ下付、書換、再授若ハ返納ノ年月日並ニ事由ヲ記載スヘシ
 第二條 地方官廳ニ於テ船鑑札規則第二條ニ據リ件名書ヲ受理シタルトキハ其ノ船舶ニ就キ尺度及積量ハ船舶積量測度規則ニ從ヒ公稱馬力ハ公稱馬力算定方法ニ從ヒ之ヲ審査スヘシ
 船鑑札ニ記載シタル尺度、積量若ハ公稱馬力ニ變更ヲ生シ其ノ書換ヲ申請シタルトキハ地方官廳ハ之ヲ審査シ必要ト認ムル場合ニハ其ノ船舶ニ臨檢スヘシ
 第三條 船鑑札ニ記載スル長、幅、深、總噸數、登簿噸數及公稱馬力ハ單位以下二位ヲ以テ限トス但長、幅及深ハ尺ヲ以テ單位トス
 第四條 船鑑札規則第五條第二項ニ據リ件名書ノ證明ヲ申請シタルトキハ地方官廳ハ之ヲ船鑑札臺帳ニ照數シ誤謬ナシト認ムル場合ニハ件名書ニ廳印ヲ捺シ之ヲ交付スヘシ
 第五條 地方官廳ハ毎年一月三十一日及七月三十一日迄ニ附録書式ニ從ヒ前六箇月間ノ船舶ノ異動ヲ遞信省ニ報告スヘシ

書式

船舶報告 自明治二十九年(一九一六年)七月至明治二十九年(一九一六年)十二月

第一 新ニ船鑑札ヲ下付シタル船舶

西洋形船舶

船鑑札付年月日	船鑑札付事由(原名所)	船名	定額	船質	噸數	尺			噸數	登簿噸數	公稱馬力	稱製地名	製造年月	造船工長姓名	所有者姓名	住所
						長	幅	深								

計、艘

日本形船舶

船鑑札付年月日	船鑑札付事由(原名)	船名	定額	船質	噸數	積石數	製造地名	製造年月	造船工長姓名	所有者姓名	住所

計、艘

第二 船鑑札ヲ書換ヘ下付シタル船舶

船ノ種類	船名	船鑑札書換年月日	船鑑札書換事由	所有者姓名

計、艘

船鑑札ヲ返納シタル船舶

船ノ種類	船名	船鑑札返納年月日	船鑑札返納事由	所有者氏名

計・艘

備考

- 一 船鑑札下付事由ノ欄内ニハ新造、外國船購入者ハ管轄官廳ノ變更空船鑑札ヲ下付シタル原因ヲ記載シ且管轄ノ變更ニ係ルトキハ管轄官廳名ヲ記載スルヲ要ス
- 一 船鑑札書換事由ノ欄内ニハ書換ニ係ル新舊船鑑札面ノ事項且所有者ノ變更ニ係ルトキハ新舊所有者ノ住所氏名ヲ記載スルヲ要ス
- 一 船鑑札ヲ再授スルニ當リ其ノ書換之ニ伴フトキハ第二表ニ編入スヘシ
- 一 船舶ノ製造地名、製造年月若ハ造船工長氏名明ナラザルトキハ其欄内ニ不詳ト記載スヘシ

明治十七年七月一日ヨリ施行

◎船舶積量測度規則

(明治十七年四月第十號布告)

- 第一條 凡ソ船舶海軍艦船ヲ除クノ積量ハ此規則ニ依リ測度スル者トス
- 第二條 船舶ノ積量ヲ測度スルハ總テ曲尺ヲ用ヒ尺位ヲ以テ單位トシ其尺度ハ分位ニ止ムヘシ
- 第三條 西洋形船ノ積量ハ百立方尺ヲ以テ一噸トシ日本形船ノ積量ハ十立方尺ヲ以テ一石トス
- 第四條 西洋形船ニシテ甲板一層ノ者ハ其甲板ヲ以テ量噸甲板トシ二層ノ者ハ其上層ヲ以テ量噸甲板トシ三層以上ノ者ハ其最下ヨリ第二層ニアル者ヲ以テ量噸甲板トス
- 第五條 西洋形船ニシテ甲板一層若クハ二層ノ者ハ量噸甲板下ノ噸數ニ量噸甲板上諸室ノ噸數ヲ合セテ之ヲ該船ノ總噸數トシ又甲板三層以上ノ者ハ量噸甲板下ノ噸數ニ量噸甲板上各甲板間ノ噸數及ヒ最上甲板上諸室ノ噸數ヲ合セテ之ヲ該船ノ總噸數トス
- 第六條 汽船ノ登簿噸數ハ總噸數ヨリ乗組人常用室及ヒ機關室ノ噸數ヲ除キタル者トス
- 第七條 乗組人常用室トシテ除クヘキ噸數ハ總噸數ノ百分ノ六トス
- 第八條 機關室トシテ除クヘキ噸數ノ割合ハ左ノ如シ
外車汽船機關室ノ噸數該船總噸數ノ百分ノ二十ヨリ三十マテハ總噸數ノ百分ノ三十七
隨車汽船機關室ノ噸數該船總噸數ノ百分ノ十三ヨリ二十マテハ總噸數ノ百分ノ三十二

機關室ノ廣狹ニ依リ前項ノ割合ニ適セサル者ハ該室ノ噸數ニ外車汽船ナレハ其二分ノ一ヲ加ヘ暗車汽船ナレハ其四分ノ三ヲ加ヘタル者トス

第九條 日本形回漕船ハ船梁上下船艙ノ石數ヲ以テ該船ノ積石トシ又其構造回漕船ニ異ナル者ハ舷端以下ノ石數ヲ以テ該船ノ積石トス

第十條 船舶ノ噸數及ヒ積石測度ノ方法ハ布達ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

●船舶積量測度方法 (明治十七年四月 第十號布達)

第一條 西洋形船ノ噸數ヲ測定スルハ左ノ方法ニ據ルヘシ

第一項 量噸甲板ニテ船首ノ内側ヨリ船尾ノ内側ニ至ル長ヲ測リ之ヨリ甲板ノ厚ニ準ヒ船首船尾ノ傾度ニ對スル甲板ノ長及ヒ終尾船梁ノ矢_{船梁ノ弧形ノ三分ノ一ニテ船尾ヲナス高}ヲ測リ之ヲ左ノ等級ニ準ヒ等分スヘシ

第一級 量噸甲板下ノ長五十尺迄ノ船ハ四個

第二級 同五十尺以上百二十尺迄ノ船ハ六個

第三級 同百二十尺以上百八十尺迄ノ船ハ八個

第四級 同百八十尺以上二百二十五尺迄ノ船ハ十個

第五級 同二百二十五尺以上ノ船ハ十二個

量噸甲板下ノ長ヲ等分シタル後其各分長點ニ於テ該甲板ノ下面ヨリ船底内板ノ上面ニ至ル深ヲ測リ之ヨリ船梁ノ矢三分ノ一ヲ減シ之ヲ各分長點ニ於ケル量噸甲板下ノ

深トス而シテ中央分長點ニ於ケル深十六尺迄ハ四個十六尺以上ナルトキハ六個ニ各深ヲ等分スヘシ

各深ヲ等分シタル後其各分深點及上下兩端ニ於テ船内ノ幅ヲ測定スヘシ

各分深點ニ於テ幅ヲ測リタル後之ヲ上端ヨリ數ヘ偶數ニ當ル幅ハ四倍シ奇數ニ當ル幅_{上下兩端ヲ除ク}ハ二倍シ此合數ニ上下兩端ノ幅ヲ加ヘ之ニ分深點ノ間隔三分ノ一ヲ乘シ其得數ヲ各分長點ニ於ケル橫截面積トス

各分長點ノ橫截面積ヲ測リタル後之ヲ船首ヨリ數ヘ偶數ニ當ル面積ハ四倍シ奇數ニ當ル面積_{船首船尾ノ面積ヲ除ク}ハ二倍シ此合數ニ船首船尾ノ面積_{船首船尾ノ面積ヲ除ク}ヲ加ヘ之ニ分長點ノ間隔三分ノ一ヲ乘シテ其得數ヲ百ニテ除シ之ヲ量噸甲板下ノ噸數トス

第二項 最上甲板上諸室ノ噸數ヲ測定スルニハ該室内ノ平均ノ長ト高ヲ測リ其高ノ中央ニ於テ該室ノ前後ト中央ノ幅ヲ測リ而シテ中央ノ幅ノ四倍ニ前後ノ幅ヲ加ヘ之ニ平均ノ長ノ六分ノ一ヲ乘シ又之ニ平均ノ高ヲ乘シテ其得數ヲ百ニテ除スヘシ

第三項 甲板三層以上ノ船ニ於テ量噸甲板上各甲板間ノ噸數ヲ測定スルニハ甲板間ノ平均ノ高ヲ測リ其高ノ中央ニ於テ船首ノ内側ヨリ船尾ノ内側ニ至ル長ヲ測リテ之ヲ量噸甲板下ノ長ト同一ニ等分シ而シテ高ノ中央ニ於テ其各分長點及ヒ前後兩端ノ幅ヲ測リ之ヲ船首ヨリ數ヘ偶數ニ當ル幅ハ四倍シ奇數ニ當ル幅_{船首船尾ノ面積ヲ除ク}ハ二倍シ此合數ニ船首船尾ノ幅_{船首船尾ノ面積ヲ除ク}ヲ加ヘ之ニ分長點ノ間隔三分ノ一ヲ乘シ又之ニ平均ノ高ヲ乘シテ其得數ヲ百ニテ除スヘシ

第二條 機關室ノ噸數ヲ測定スルハ左ノ方法ニ據ルヘシ

第一項 機關室内平均ノ長幅深ヲ測リ之ヲ相乘シテ其得數ヲ百ニテ除シ之ヲ機關室ノ噸

第二條 機關室ノ噸數ヲ測定スルハ左ノ方法ニ據ルヘシ

第一項 機關室内平均ノ長幅深ヲ測リ之ヲ相乘シテ其得數ヲ百ニテ除シ之ヲ機關室ノ噸

第二條 機關室ノ噸數ヲ測定スルハ左ノ方法ニ據ルヘシ

第一項 機關室内平均ノ長幅深ヲ測リ之ヲ相乘シテ其得數ヲ百ニテ除シ之ヲ機關室ノ噸

第二條 機關室ノ噸數ヲ測定スルハ左ノ方法ニ據ルヘシ

第一項 機關室内平均ノ長幅深ヲ測リ之ヲ相乘シテ其得數ヲ百ニテ除シ之ヲ機關室ノ噸

第二條 機關室ノ噸數ヲ測定スルハ左ノ方法ニ據ルヘシ

第一項 機關室内平均ノ長幅深ヲ測リ之ヲ相乘シテ其得數ヲ百ニテ除シ之ヲ機關室ノ噸

第二條 機關室ノ噸數ヲ測定スルハ左ノ方法ニ據ルヘシ

第一項 機關室内平均ノ長幅深ヲ測リ之ヲ相乘シテ其得數ヲ百ニテ除シ之ヲ機關室ノ噸

第二條 機關室ノ噸數ヲ測定スルハ左ノ方法ニ據ルヘシ

第一項 機關室内平均ノ長幅深ヲ測リ之ヲ相乘シテ其得數ヲ百ニテ除シ之ヲ機關室ノ噸

第二條 機關室ノ噸數ヲ測定スルハ左ノ方法ニ據ルヘシ

數トス

第二項 機關室ノ上端ニ機關運轉又ハ空氣流通等ノ爲メ圍ヒタル場所アルトキハ其長幅深ヲ測リ之ヲ相乘シテ其得數ヲ百ニテ除シ之ヲ機關室ノ噸數ニ加フヘシ

第三項 暗車汽船ニ於テハ軸室平均ノ長幅高ヲ測リ之ヲ相乘シテ其得數ヲ百ニテ除シ之ヲ機關室ノ噸數ニ加フヘシ

第三條 甲板ナキ西洋形船ノ噸數ヲ測定スルハ左ノ方法ニ據ルヘシ

第一項 船首上端ノ内側ヨリ船尾上端ノ内側ニ至ル長ヲ測リ之ヲ第一條第一項ニ掲クル等級ニ準ヒ等分シ其各分長點ニ於テ船舷ノ上端ヲ境線トシ之ヨリ船底ニ至ル深ヲ測リ其他第一條第一項ニ據リテ噸數ヲ求メ之ヲ該船ノ總噸數トス

第二項 船舷上端ノ境線ヲ超ニ船室ノ設アルモノハ境線上ニ於ケル該室平均ノ長幅高ヲ測リテ之ヲ相乘シ其得數ヲ百ニテ除シ之ヲ該線下ノ噸數ニ加フヘシ

第四條 日本形回漕船ノ石數ヲ測定スルハ左ノ方法ニ據ルヘシ

第一項 船舷ノ上端ヲ境線トシ之ヨリ船梁ノ上面ニ至ル平均ノ高ヲ測リ又船首室ノ境界ヨリ船尾室ノ境界ニ至ル長ヲ測リ又船舷ノ内側ヨリ内側ニ至ル平均ノ幅ヲ測リテ此長幅高ヲ相乘シ其得數ヲ十ニテ除シ之ヲ船梁上船艙ノ石數トス

第二項 船首室ノ境界ヨリ船尾ノ内側ニ至ル船底ノ長ヲ測リ之ヲ四個ニ等分シ其各分長點及ヒ前後兩端ニ於テ深ヲ測リ又各深ノ中央及ヒ上下ニ於テ平均ノ幅ヲ測リテ其深幅ヲ平均シ而シテ此平均ノ深幅ト長ヲ相乘シ其得數ヲ十ニテ除シ之ヲ船梁下船艙ノ石數トス

第五條 日本形ニシテ其構造回漕船ニ異ナル船ノ石數ヲ測定スルハ左ノ方法ニ據ルヘシ

船首ノ内側ヨリ船尾ノ内側ニ至ル船底ノ長ヲ測リテ之ヲ四個ニ等分シ其各分長點ニ於テ船舷上端ヲ境線トシ之ヨリ船底ニ至ル深ヲ測リ其深ノ中央及ヒ上下ニテ平均ノ幅ヲ測リテ其深幅ヲ平均シ而シテ此平均ノ深幅ト長ヲ相乘シ其得數ヲ十ニテ除シ之ヲ該船ノ石數トス

◎船舶積量測度圖解 (明治二十一年三月之レヲ定ム)

第一款 西洋形船量噸甲板下ノ噸數測度

第一項 量噸甲板下ノ長ヲ求ムルニハ該甲板上ニテ第一圖乙圖ノ(イロ)及(ハニ)ノ如ク中央線ヨリ適宜ノ距離ニ於テ昇降口、橋等ヲ避ケ該線ト並行ニ(ロニ)ノ長ヲ測リ又(イ)及(ハ)ヨリ船首船尾ノ内側ニ至ル(イホ)ノ長ヲ測リ之ヲ(ロニ)ノ長ニ加フヘシ而シテ此長ヨリ船首船尾ノ傾度ニ對スル甲板上面ノ長即第一圖甲圖ノ(イハ)(ロニ)及終尾船梁ノ矢テナス高 三分ノ一下ニテ船尾ノ傾度ニ對スル甲板下面ノ長(ホニ)ヲ減スヘシ

第二項 前ノ如ク量噸甲板下ノ長ヲ求メタル上ハ左ノ如ク之ヲ等分スヘシ

等 級	量噸甲板下ノ長	等 分 數
一 級	五十尺迄	四 個
二 級	五十尺以上百二十尺迄	六 個
三 級	百二十尺以上百八十尺迄	八 個

四	級	百八十尺以上二百二十五尺迄	十	個
五	級	二百二十五尺以上	十二	個

第三項 前ノ如ク等分シタル上ハ白聖ノ類ヲ以テ各分長點ヲ量噸甲板ニ記スルコト第一圖甲圖本圖ハ六個ニ等分セルモノヲ示スノ(一)(二)(三)(四)(五)(六)(七)ノ如クシ之ヲ同圖ノ(ハ)(ト)(チ)(リ)(ヌ)ノ如ク副龍骨上壓箱水筒ヲ具備セル船艙ニ於テハ其上ニ移記シテ次ニ量噸甲板下ニテ第二圖ノ如ク船梁ノ一端(ハ)ヨリ他端(ニ)マテ一線ヲ張り其中央ニ於テ船梁ノ矢(イ)(ロ)ノ距離ヲ測ルカ又ハ甲板中央ノ凸所ニ接シ(伊)ノ如ク一線ヲ張り船舷ニ於テ(伊)(ハ)ノ如ク該線ト甲板トノ距離ヲ測リ之ヲ以テ船梁ノ矢ト定メ而シテ第一圖甲圖ノ(ハ)(ト)(チ)(リ)(ヌ)ノ各點ニ就テ第二圖ノ如ク尺杖ヲ立テ量噸甲板下面ヨリ船底内板ノ上面ニ至ル(リ)(ヌ)ノ深壓箱水筒ヲ備フルモノハ第六項第七項ニ示スヲ測リ之ヨリ船梁ノ矢(イ)(ロ)ノ三分ノ一ヲ減シ之ヲ量噸甲板下ノ深トス若シ量噸甲板ニ嵩所アルトキハ量噸甲板ノ下面ヨリ船梁ノ矢三分ノ一以下リタル處ニ一線ヲ張り之ヨリ以下ノ深ヲ量ルヘシ

第四項 前ノ如ク各分長點ニ就キテ甲板下ノ深ヲ求メタル上ハ中央分長點第一圖甲圖ノ(チ)ニ於ケル深十六尺迄ハ各深ヲ四個ニ等分シ之ヲ尺杖ニ記スルコト第二圖ノ(一)(二)(三)(四)(五)ノ如クシ此尺杖ノ各分點ニ於テ(ヨ)(タ)(ソ)(ツ)(ネ)(ナ)(ラ)(ム)(ウ)(キ)ノ幅船底内板ノ厚ヲ平均ニ見做シヲ測リテ之ヲ上ヨリ一二三四五ト數ヘ而テ偶數ニ當ル幅即チ第二及ヒ第四ノ幅ニハ各四ヲ乘シ奇數ニ當ル幅第一及ヒ第五ヲ除ク即チ第三ノ幅ニハ二ヲ乘シテ相加ヘ又之ニ第一ト第五ノ幅ヲ加ヘ此合數ニ深ヲ等分シタル一部分ノ長第一及ヒ第五ノ幅ノ距離ヲ乘シ之ヲ其處ノ橫截面積トス

但シ(ヨ)(タ)ノ幅ハ甲板ヲ貫キ測リ難キニヨリ甲板ヨリ四五寸上ニテ(ノ)(オ)ノ幅ヲ測リ之ヲ(ヨ)(タ)ノ幅ニ代用スヘシ然レトモ此幅ハ船舷ノ直立セルモノニ於テハ(ヨ)(タ)ノ幅ト同一ナルトモ船舷ノ傾キタルモノニ於テハ其傾度ニ從ヒ多少ノ増減ヲ要スヘシ

中央分長點ニ於ケル深十六尺ヲ超過セルトキ各深ヲ六個ニ等分シ其各分長點ニ於テ幅ヲ測ルコト前ノ如クシ而テ偶數ニ當ル幅即チ第二第四及ヒ第六ノ幅ニハ各四ヲ乘シ奇數第一及ヒ第五ヲ除クニ當ル幅即チ第三及ヒ第五ノ幅ニハ各二ヲ乘シテ相加ヘ又之ニ上下兩端即第一及ヒ第七ノ幅ヲ加ヘ此合數ニ深ヲ等分シタル一部分ノ長ノ三分一ヲ乘シテ之ヲ其所ノ橫截面積トス

第五項 前ノ如ク各所橫截面積ヲ求メタル上ハ之ヲ船首ヨリ一二三四等ト數ヘ偶數ニ當ル面積ハ各四ヲ乘シ奇數ニ當ル面積第一ト終尾ヲ除クハ各二ヲ乘シテ相加ヘ通常ノ船體ニ於テハ一線或ハ一點ニ歸シテ全ク面積ヲキモノナリ此合數ニ量噸甲板ノ長ヲ等分シタル一部分ノ長第一及ヒ第七ノ幅ニシテ面積アルモノハ之ヲ加フ若シ船體異様ニシテ面積アルモノハ之ヲ加フ圖甲圖第一及ヒ第七ノ幅ノ距離ノ三分一ヲ乘シテ得ル所ノ數ヲ百ニテ除シ之ヲ量噸甲板下ノ噸數トス

第六項 船首ヨリ船尾ニ至ル全長ヲ通シテ壓箱水筒ヲ設ケタル船ノ深サヲ求ムルニハ其水筒上部ニ敷列セル内板則チ第三圖ノ(イ)迄ヲ測ルヘシ又第四圖ノ如ク全長ヲ通シテ水筒ヲ設ケサル船水筒ハ船首及ヒ船尾ノミニ水筒ヲ設ケタル機室ヲ除キシモニ於テハ各水筒ノ長ヲ合算シ其長量噸甲板下面ノ長ノ二分ノ一以上ナルトキハ水筒ナキ部分ノ深ヲ測ルニ第四圖ニ於ル(イ)(ロ)ノ如ク水筒上部内板ノ上面ト同高ニ一線ヲ張り其線迄ヲ測ルヘシ

但船艙内積荷少キ場合ニ於テ壓箱水筒ニ代用スヘキ構造ノモノハ之ヲ除クノ限リニ

アラス

第七項 前項の場合ニ於テ各水箱ノ合長量噸甲板下面ノ長ノ二分ノ一以下ナルトキハ水箱ヲ備ヘサルモノト見做シ肋骨根板上内板迄ノ深ヲ測ルモノトス故ニ水箱ヲ備フル部分ニ於テハ第三圖ノ肋骨根板上内板迄ノ深ヲ測ルモノト見做シ形状ニヨリ之ヲ推測シ第四項ニ從ヒ其深ヲ等分シタル分點ノ幅ヲ測ルヘシ若シ其最下ノ幅ヲ實測シ得サルトキハ船底彎曲部ノ現狀ニヨリ之ヲ推測スヘシ

第二款 量噸甲板上各甲板間ノ噸數測定

量噸甲板上各甲板間ノ噸數ヲ求ムルニハ甲板間ノ中央ニ於テ船首ノ内側ヨリ船尾ノ内側ニ至ル長ヲ測ルコト第五圖本圖ハ六個ニ等分ノ(ヒモ)ノ如クシ之ヲ量噸甲板下ノ長ト同一ニ等分スルコト(一)(二)(三)(四)(五)(六)(七)ノ如クシ此各分長點ニ於テ下層甲板ノ上面ヨリ上層甲板ノ下面迄ノ高ヲ測リテ之ヲ平均シ又各高ノ中央ニ於テ幅ヲ測リ之ヲ船首ヨリ一二三四五六七ト數ヘ偶數ニ當ル幅即チ第二第四及ヒ第六ノ幅ニハ各四ヲ乘シ奇數ニ當ル幅第一ト第三ト第五ト第七ト即第三及ヒ第五ノ幅ニハ各二ヲ乘シテ相加ヘ又之ニ第一ト第七ノ幅ヲ加ヘ此合數ニ長ヲ等分シタル一部分ノ長第五圖ノ(二)或ハ(三)等ノ距離ノ三分ノ一ヲ乘シテ得ル所ノ數ヘ平均ノ高ヲ乘シ之ヲ百ニテ除スヘシ

第三款 最上甲板上諸室ノ噸數測定

甲板ノ上諸室ノ噸數ヲ求ムルニハ室内平均ノ長ヲ測リ其中央及ヒ兩端ニ於テ高ヲ測リ又其高ノ中央ニテ幅ヲ測ルコト第六圖ノ(イロ)(ハニ)(ホヘ)ノ如クシ而シテ中央ノ幅(ハニ)ヲ四倍セシモノニ前後ノ幅(イロ)(ホヘ)ヲ加ヘ之ニ平均ノ長ノ六分ノ一ト平均ノ高ヲ乘シ得ル所ノ數ヲ百ニテ除スヘシ若シ諸室ノ形状方形若クハ長方形ナルトキハ

其室内ノ長幅高ヲ測リ之ヲ相乘シ得ル所ノ數ヲ百ニテ除スヘシ
但天窓凸出部ニハ噸數ニ算入セサルヲ以テ測ルニ及ハス

第四款 機關室ノ噸數測定

第一項 機關室ノ噸數ヲ求ムルニハ該室内前後隔板間ノ長ヲ測リ其長ノ中央ト兩端ノ二箇所機關室ノ形状ニヨリ緊要トニテ該室ノ上部ニ於ケル甲板ノ下面ヨリ幅ヲ底内板壓縮水箱ヲ設ケル船ニテ第一款第六ニ至ル深ヲ測リ又各深ノ中央ニ於テ幅ヲ測リ其深幅ヲ平均項ニ當ルモノハ同項ノ方法ニ據ルシ而シテ此平均ノ深幅ト長ヲ相乘シ得ル所ノ數ヲ百ニテ除スヘシ若シ其室ノ上部ニ機關運轉又ハ空氣流通等ノ爲メ圍ヒタル場所アレハ天窓ノ甲板上部ニ凸出シ其長幅高ヲ測リテ之ヲ相乘シ得ル所ノ數ヲ百ニテ除シ之ヲ前數ニ加フヘシ

第二項 汽鐘ト機械ト別室ニ備フルモノハ前ノ方法ニ從ヒ各室ノ容積ヲ測リ之ヲ相合シテ百ニテ除シ機關室ノ噸數トス

第三項 暗車汽船ニ於テ軸室ヲ具フルモノハ其平均ノ長幅高ヲ相乘シ之ヲ百ニテ除シタルモノヲ機關室ノ噸數ニ加フヘシ

第四項 暗車汽船ニ於テ軸室ヲ具ヘサルモノハ最大軸架ノ下部ノ幅ヲ自乘シ之ニ機關室ノ噸數ニ加フヘシ

第五款 甲板ナキ西洋形船噸數測定

第一項 甲板ナキ船ノ噸數ヲ求ムルニハ船首上端ノ内側第七圖ノ(イ)ヨリ船尾上端ノ内側(ロ)ニ至ル長ヲ測リ之ヲ第一款第二項ニ掲クル等分數ニ從ヒ分畫スルコト同圖ノ本圖ハ四個ニ等分(一)(二)(三)(四)(五)ノ如クシ而シテ船舷ノ上端ヲ境線トシ此各分長點セルモノヲ示ス

ニ於テ深ヲ測ルコト(二リ)(三ヌ)(四ル)ノ如クシ其他ハ第一款量噸甲板下ノ噸數測度方ニ同シ

第二項 船舷上端ノ境線ヲ超ヘ船室ノ設ケアルモノハ境線上ニ於ケル該室ノ平均ノ長幅高ヲ測リテ之ヲ相乘シ其得數ヲ百ニテ除シ之ヲ該線下ノ噸數ニ加フヘシ

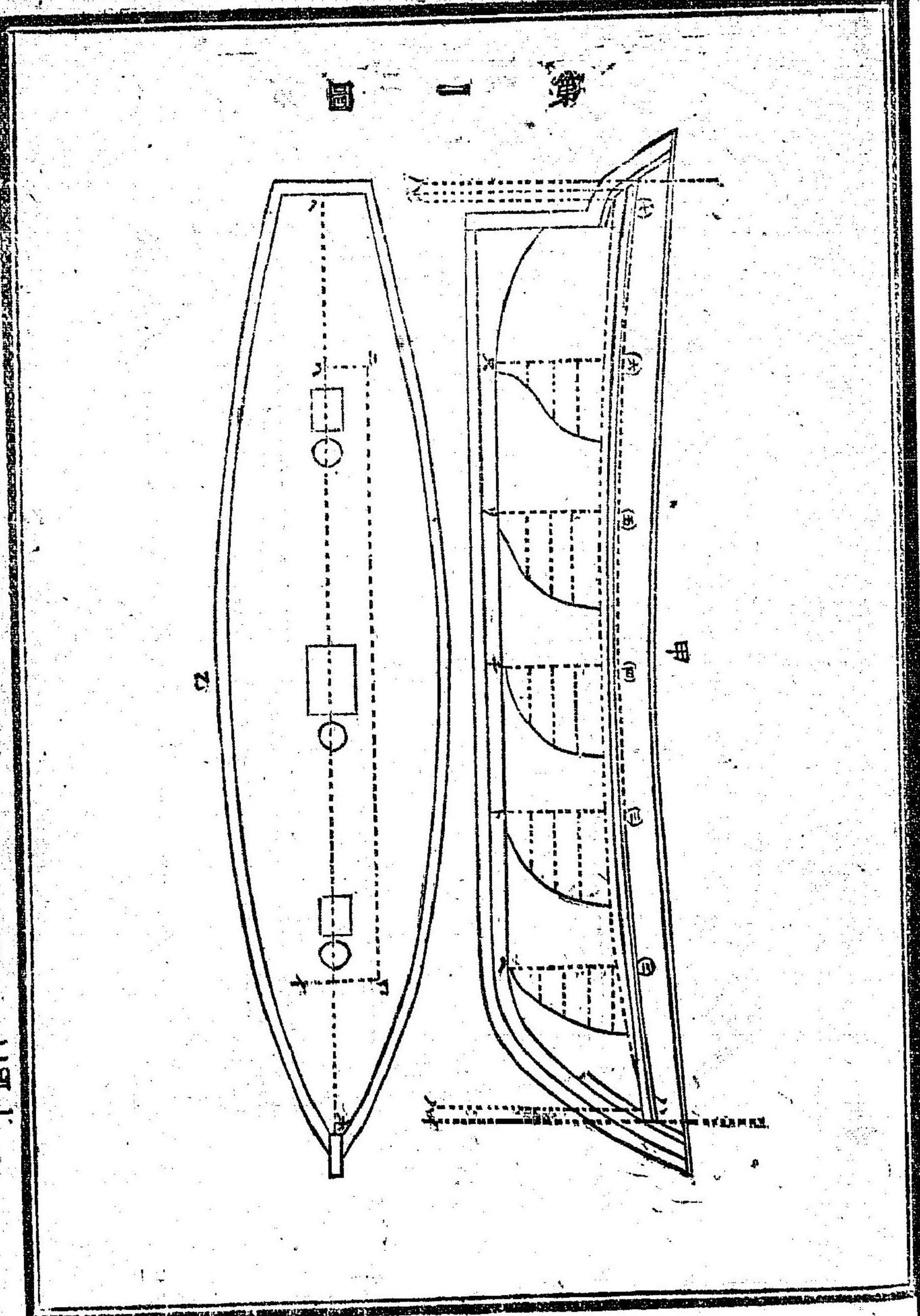
第六款 日本形回漕船ノ石數測度

第一項 船梁上船艙ノ石數ヲ求ムルニハ船首室ノ境界則第八圖甲圖ノ(イ)ヨリ船尾室ノ境界(ロ)ニ至ル長ヲ測リ此長ノ中央(ハ)及ヒ兩端(イ)(ロ)ニ於テ船舷ノ上端ヨリ船梁ノ上面ニ至ル(ニホ)(ヘト)(チリ)ノ高ヲ測リ其各高ノ中央ニ於テ乙圖ノ(ヌル)ノ如ク幅ヲ測リ其高幅ヲ平均シ而シテ此平均ノ高幅ト長ヲ相乘シ得ル處ノ數ヲ十二テ除スヘシ

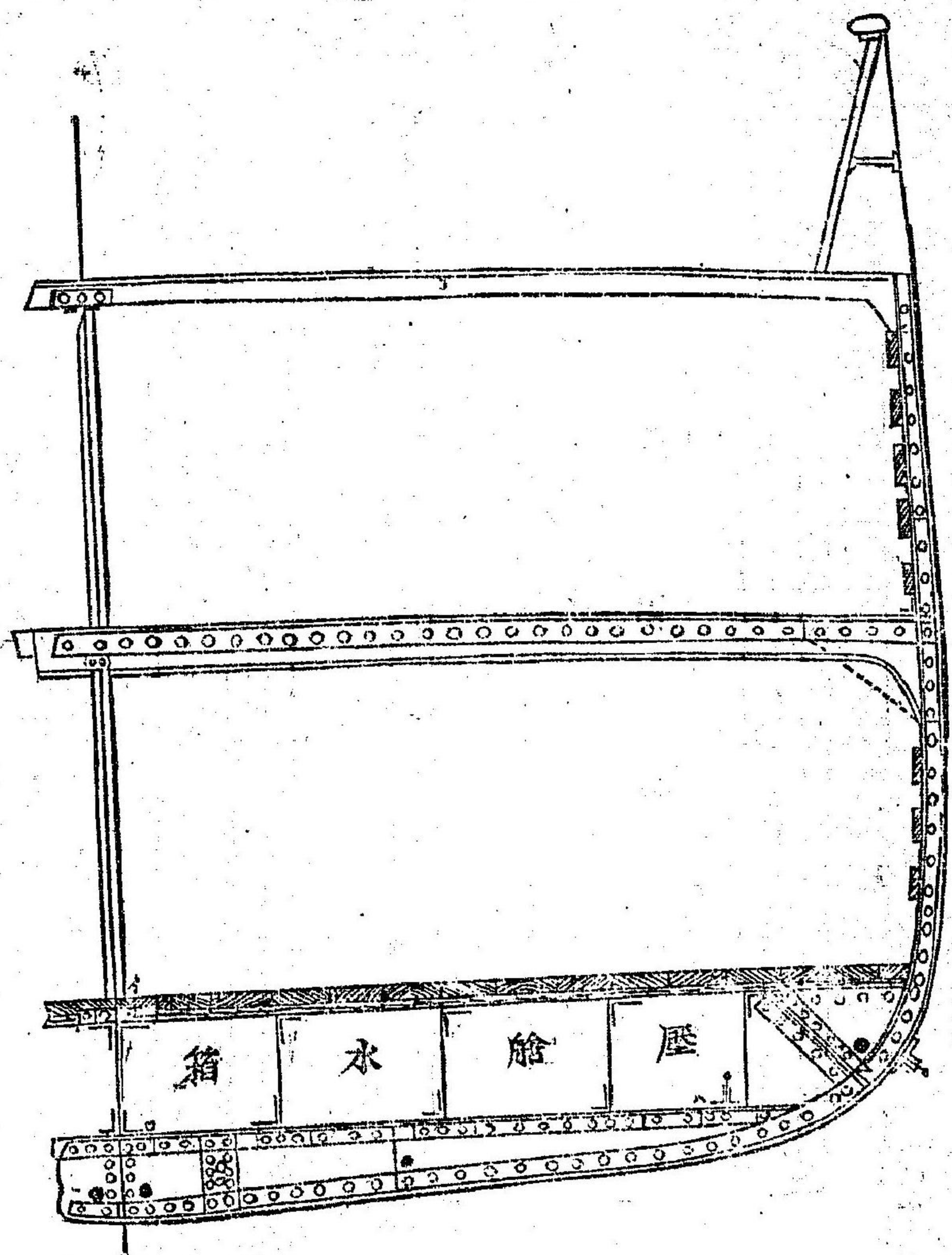
第二項 船梁下船艙ノ石數ヲ求ムルニハ甲圖ノ(オ)ヨリ(ワ)ニ至ル船底ノ長ヲ測リテ之ヲ四個ニ等分スルコト(一)(二)(三)(四)(五)ノ如クシ此各分長點ニ於テ船梁ノ上面ヨリ船底ニ至ル深ヲ測リ其各深ノ中央及ヒ上下ニテ乙圖ノ(タレ)ノ如ク幅ヲ測リ其各深ノ中央及ヒ上下ニ於テ幅ヲ測リ其深幅ヲ平均シ而シテ此平均ノ深幅ト長ヲ相乘シ得ル處ノ數ヲ十二テ除スヘシ

第七款 構造回漕船ニ異ナル日本形船ノ石數測度

回漕船ニ異ナル船ノ石數ヲ求ムルニハ船首ノ内側ヨリ船尾ノ内側ニ至ル船底ノ長ヲ測リ之ヲ四個ニ等分シ其各分長點ニ於テ船舷ノ上端ヨリ一線ヲ張り之ヨリ船底ニ至ル深ヲ測リ其各深ノ中央及ヒ上下ニ於テ幅ヲ測リ其深幅ヲ平均シ而シテ此平均ノ深幅ト長ヲ相乘シ得ル處ノ數ヲ十二テ除スヘシ

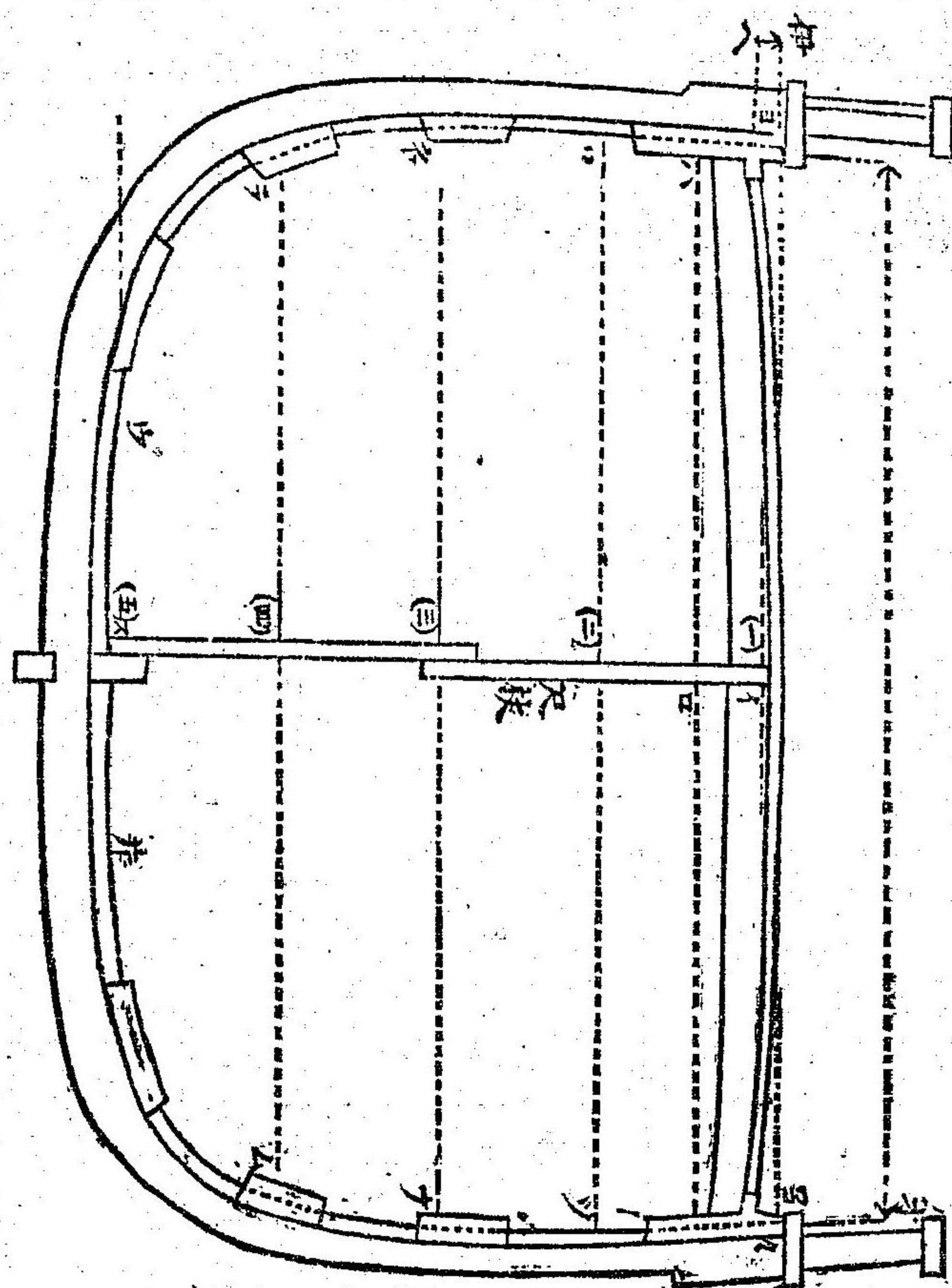


第三圖



三圖三

第二圖



二圖三

圖 四 第

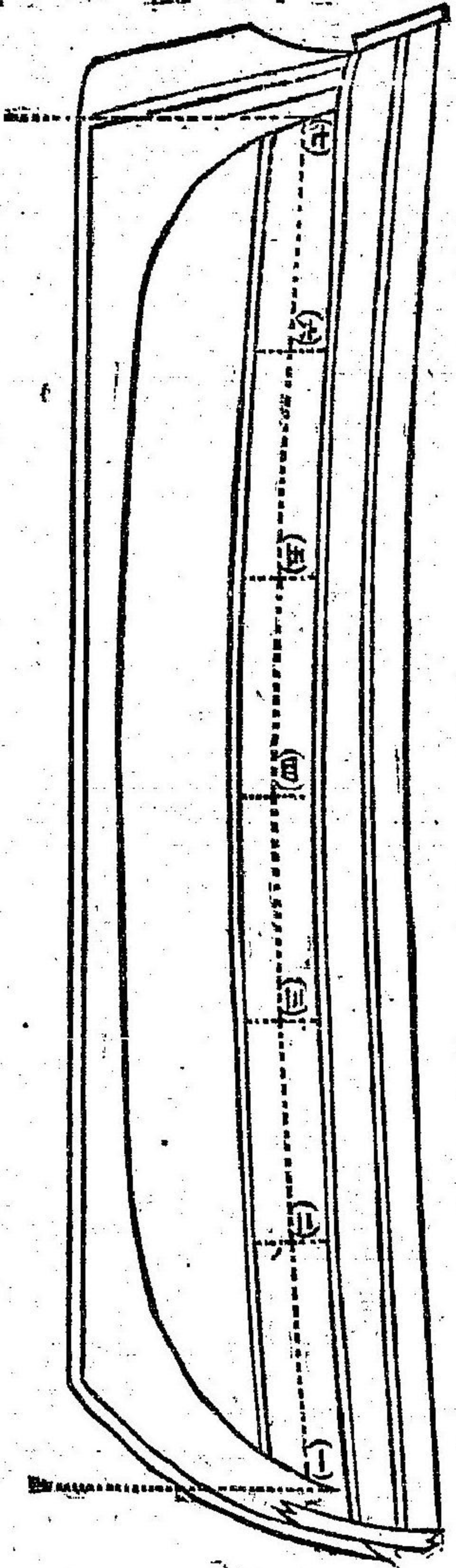


圖 五 第

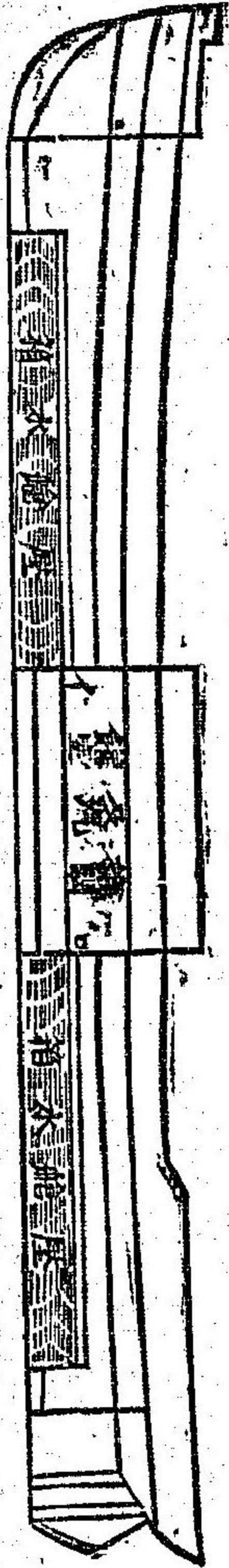


圖 六 第

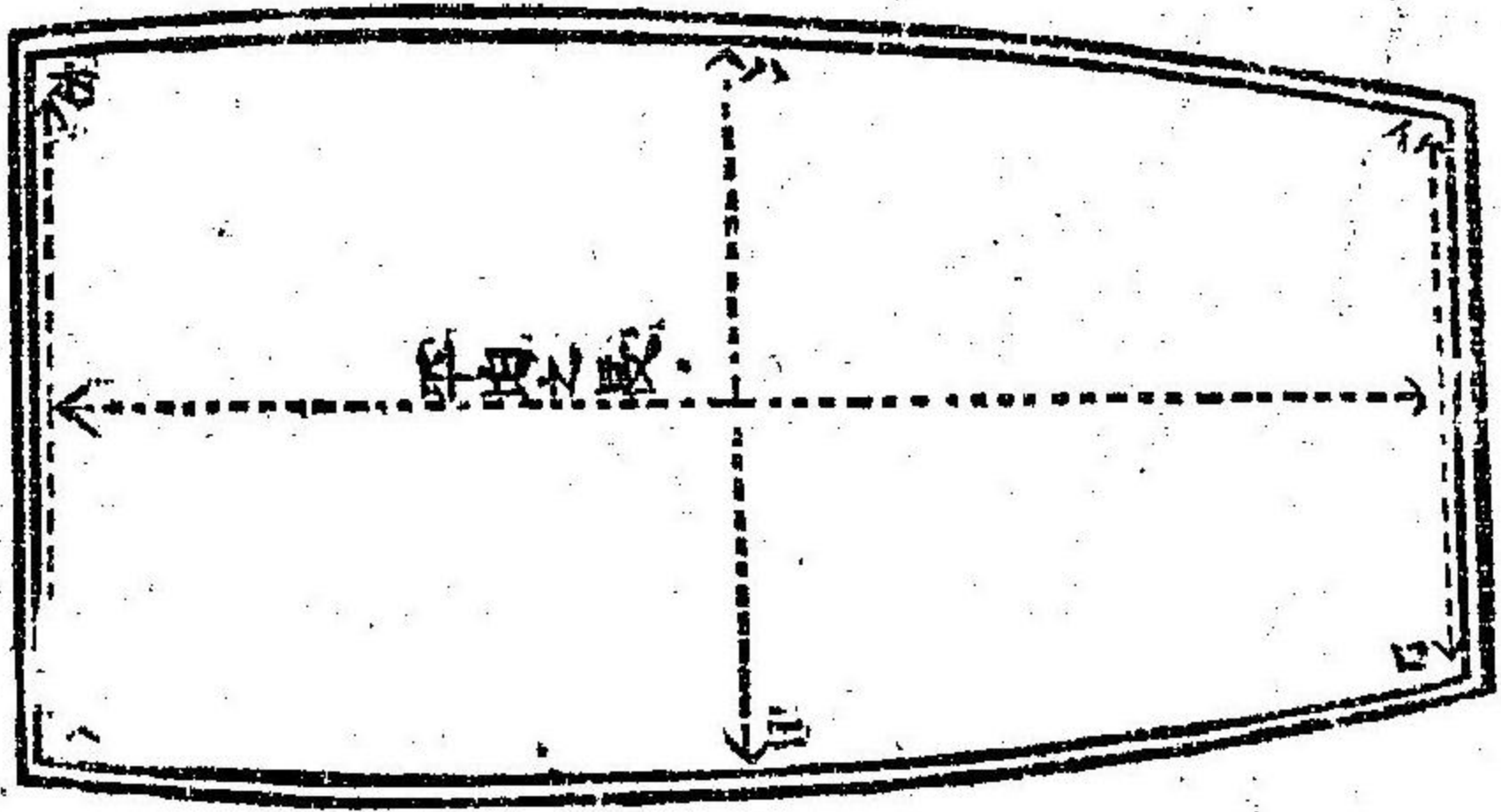
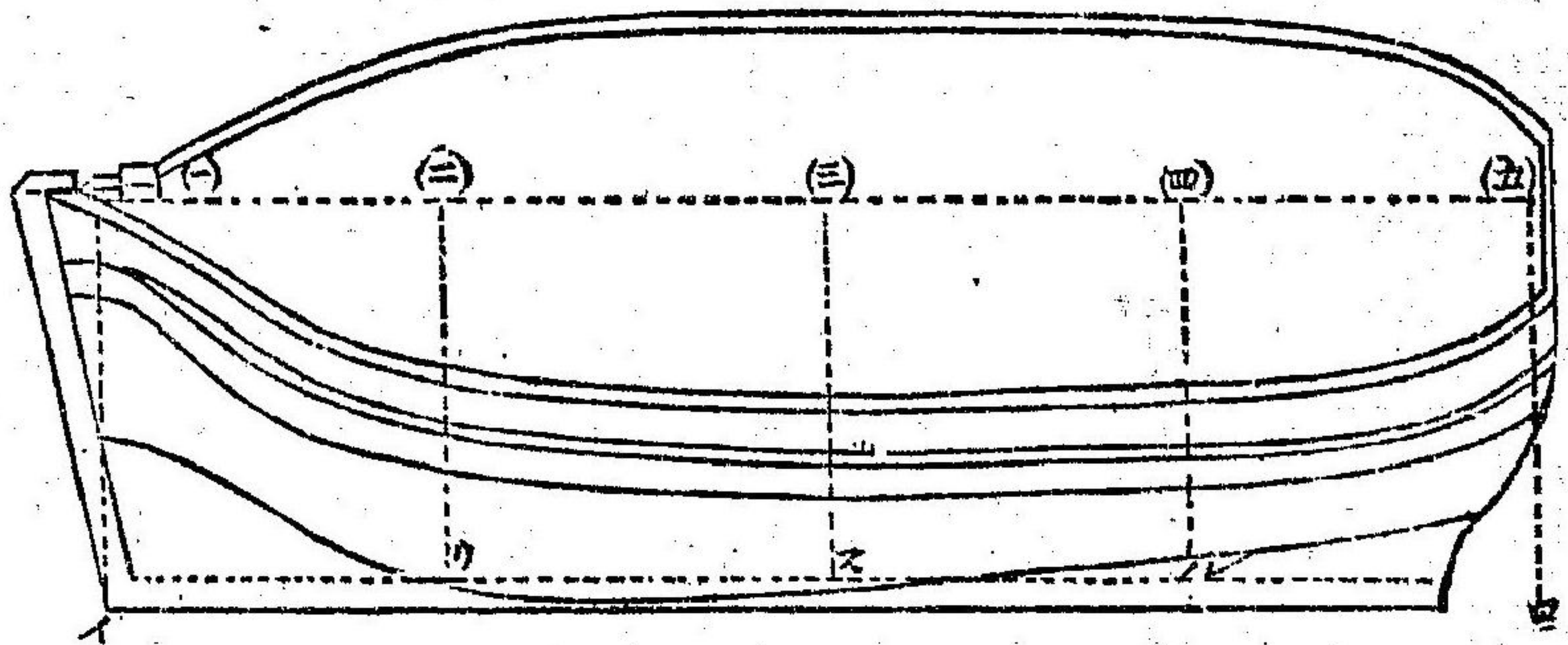


圖 七 第



明治三十八年
三月勅令第七
號ヲ以テ改
正

●船舶登記規則

(明治三十二年六月
勅令第二百七十號)

第一章 總則

第一條 不動産登記法第二條乃至第七條、第九條第一項、第十條、第十二條、第十三條、第十八條乃至第三十五條、第三十八條乃至第六十六條、第六十九條乃至第七十八條、第一百條、第一百二條、第一百八條、抵當權第一百十七條、第一百十九條、第一百二十條、第一百二十二條乃至賃借權第二百二十七條、第四百十一條、第四百十二條、第四百十四條乃至第四百四十八條及ヒ第五百十條乃至第五百五十九條ノ規定ハ船舶ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二章 登記所

第二條 此規則ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外船舶港ヲ管轄スル區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

船舶港カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カルトキハ司法大臣管轄登記所ヲ指定ス

第三條 登記所ハ船舶所有權移轉ノ登記又ハ第三十條ノ規定ニ依ル抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ船舶港ヲ管轄スル管海官廳ニ通知スルコトヲ要ス

管海官廳ハ第十六條ニ掲ケタル事項又ハ船舶港ノ變更アリタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ登記所ニ通知スルコトヲ要ス

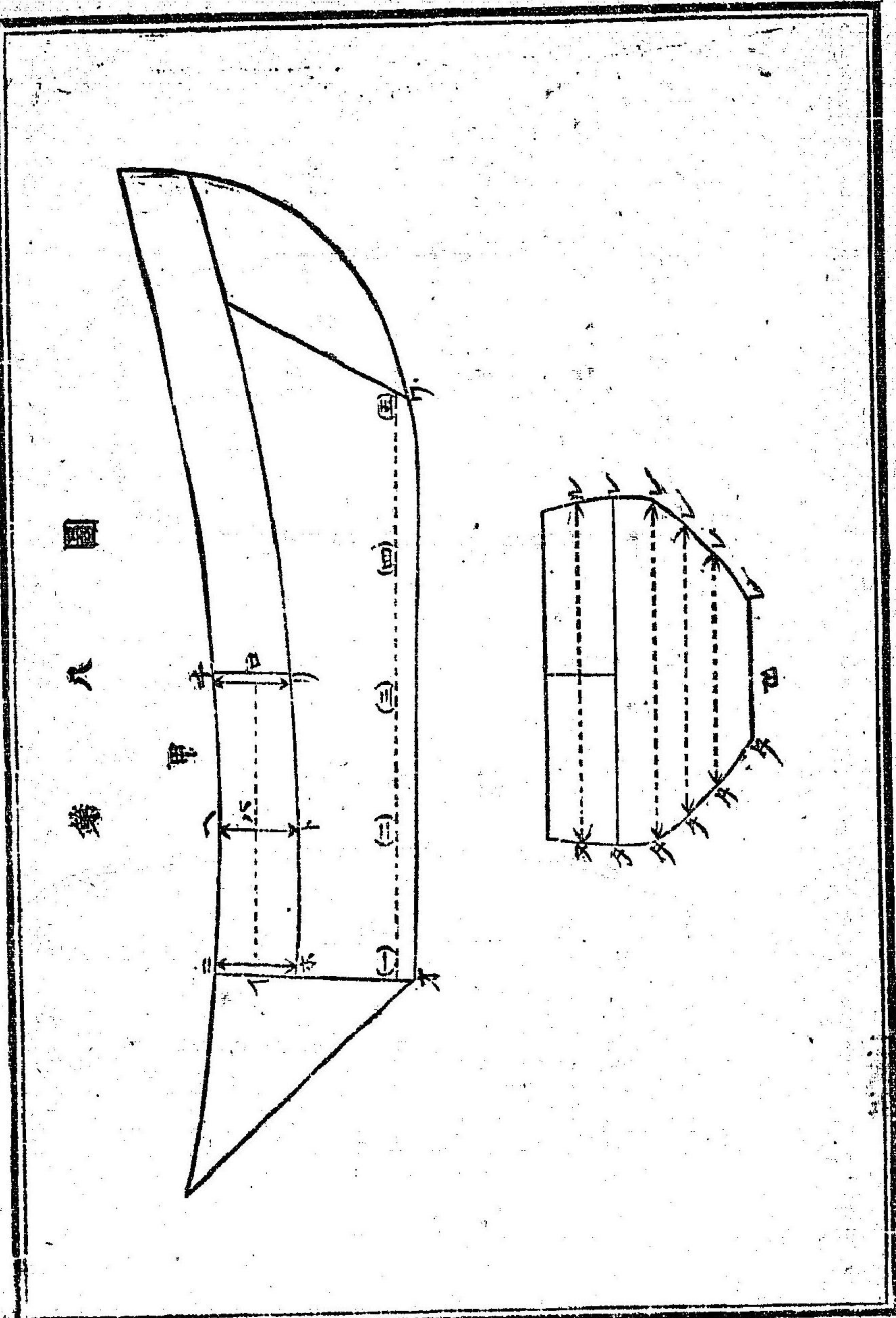


圖 八 船 體

第三章 登記簿

第四條 登記簿ハ船籍港毎ニ別冊ト爲ス

第五條 登記簿ハ一艘ノ船舶ニ付キ一用紙ヲ備フ

第六條 登記簿ハ其一用紙ヲ登記番號欄、表題部及ヒ甲乙丙丁ノ四區ニ分チ尙ホ表題部ニ

表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ク

登記番號欄ニハ各船舶ニ付キ登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ第十六條ノ規定ニ依リテ船舶ノ表示ヲ爲シ及ヒ其變更ニ關スル事項ヲ記載シ

表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス乙區事項欄ニハ船舶管理人ニ關スル事項ヲ

記載ス

丙區事項欄ニハ抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

丁區事項欄ニハ賃借權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第四章 登記手續

第一節 通則

第七條 登記ヲ申請スルニハ始メテ船舶所有權ノ登記ヲ申請スル場合及ヒ第十一條第一項

ノ場合ヲ除ク外申請書ニ登記證書ヲ添附スルコトヲ要ス

第八條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

一 船舶ノ種類、名稱及ヒ積量

二 船籍港

三 不動産登記法第三十六條第三號乃至第八號ニ掲ケタル事項

第九條 登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ニ申請書受附ノ年月日、受附番號、

順位番號、登記權利者ノ氏名、住所、登記原因、其日附、登記ノ目的及ヒ登記濟ノ旨ヲ

記載シ登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ所有權ノ登記名義人ニ還付スルコトヲ要ス

第十條 登記證書カ滅失シタルトキハ船舶カ船籍港ニ碇泊スル場合ニ限り所有權ノ登記名

義人ハ其登記ヲ爲シタル登記所ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ更ニ登記證書

ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ區裁判所ハ裁判ヲ爲ス前船長ヲ訊問スルコトヲ要ス

第十一條 所有權ノ登記名義人ハ登記證書ヲ提出セスシテ登記ヲ申請スルコトヲ得此場合

ニ於テハ登記ハ特別登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ登記證書ヲ提出スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ之ヲ提出シテ更ニ登

記ヲ申請スルコトヲ要ス

第十二條 登記官吏カ前條第二項ノ申請ヲ受ケタルトキハ特別登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移

シ其末尾ニ特別登記簿ニ依リテ登記ヲ移シタル旨及ヒ申請書受附ノ年月日ヲ記載シ登記

官吏捺印スルコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移ストキハ順位番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番

號ヲ記載スルコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ之ニ關スル特別登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第十三條 特別登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移シタルトキハ申請者以外ノ當事者ニ對シ之ニ本

登記濟證ヲ與フヘキ旨ヲ通知シ若シ第四十五條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル登記アル

トキハ同時ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス
不動産登記法第七十五條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二節 所有權ニ關スル登記手續

第十四條 始メテ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ書面ニ依リ自己カ所有者タルコトヲ證スル者ヨリ其登記ヲ申請スルコトヲ要ス

不動産登記法第七條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 始メテ所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ管海官廳ヨリ交付シタル船舶件名書ノ謄本及ヒ次條第一項第八號並ニ第二項第四號、第五號ニ掲ケタル事項ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

日本ニ於テ製造シタル船舶ニ付キ始メテ所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其船舶ノ製造地ヲ管轄スル登記所ノ特別登記簿ノ謄本又ハ特別登記簿ニ其船舶ニ關スル登記ナキコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十六條 始メテ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ表示欄ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 船舶ノ種類及ヒ名稱
- 二 國籍取得ノ年月日但日本ニ於テ船舶ヲ製造シタル場合ハ此限ニ在ラス
- 三 外板ノ材料
- 四 船骨ノ材料
- 五 橋ノ數
- 六 總噸數

七 登簿噸數

八 進水ノ年月日

汽船ニ在リテハ前項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 汽機ノ種類及ヒ數

二 汽罐ノ種類及ヒ數

三 推進器ノ種類

四 汽機製造ノ年月日

五 汽罐製造ノ年月日

石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ在リテハ總噸數及登簿噸數ニ代ヘテ積石數ヲ記載スルコトヲ要ス

第十七條 始メテ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ登記官吏カ其登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ヲ作り之ニ登記番號、船舶ノ種類、名稱並ニ積量、船籍港及ヒ第九條ニ掲ケタル事項ヲ記載シ登記所ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ登記權利者ニ交付スルコトヲ要ス

第十八條 所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ登記權利者カ日本人ナルコトヲ證スル戸籍吏ノ書面其他之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十九條 所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ登記權利者カ商會社其他ノ法人ナルトキハ申請書ニ其本店又ハ主タル事務所ノ所在地及ヒ船舶法第一條ニ掲ケタル社員、無限責任社員、取締役、業務擔當社員若クハ代表者ノ氏名ヲ記載シ且之ヲ證スル登記ノ謄本、抄本又ハ登記證書及ヒ此等ノ者カ日本人ナルコトヲ證スル戸籍吏ノ書面其他之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

同一ノ登記所ニ於テ既ニ商法第五十一號乃至第五十三條、第七百七條、第四百四十一條、第四百四十二條、舊商法第三百三十八條又ハ民法第四十六條ノ規定ニ依リテ登記ヲ爲シタルトキハ前項ニ定メタル登記ノ謄本、抄本又ハ登記簿ニ添附スルコトヲ要セス

第二十條 始メテ所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ船舶カ數人ノ共有ニ關スルトキハ申請書ニ各共有者ノ持分及ヒ船舶管理人ノ氏名、住所ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ船舶所有者カ其所有權ノ一部ヲ讓渡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條 第十六條ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シ又ハ船舶所有者カ船籍港ヲ變更シタルトキハ所有權ノ登記名義人ハ遲滞ナク其登記ヲ申請スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ同一ノ船舶ノ登記用紙ニ抵當權又ハ賃借權ノ登記アルトキハ申請書ニ其登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十二條 第十六條ニ掲ケタル事項ノ變更ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ變更後ノ事項ヲ記載シ表示番號欄ニ番號ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第二十三條 第十六條ニ掲ケタル事項ノ變更ノ登記ノ申請書ヲ受附ケタル時ニ於テ未ダ管海官廳ヨリ其事項ニ關スル通知ヲ受ケサルトキ又ハ其申請書ニ記載シタル登記ノ目的カ管海官廳ノ通知ト符合セサルトキハ不動産登記法第四十九條ノ規定ヲ準用ス、但登記ノ目的カ申請書ニ添附シタル船舶原籍ノ謄本又ハ抄本ト符合スルトキハ此限ニ在ラス

第二十四條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ於ケル船籍港變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ新船籍港ノ登記簿ニ舊船籍港ノ登記ヲ移スコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移スコキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ舊船籍港ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ何船籍港ノ登記簿ニ依リ登記ヲ移シタル旨及申請書受附ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ前登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第二十五條 船舶所有者カ船籍港ヲ甲登記所ノ管轄地ヨリ乙登記所ノ管轄地ニ移シタルトキハ舊船籍港ノ登記簿及ヒ其附屬書類ノ謄本ノ交付ヲ甲登記所ニ申請シ其謄本ヲ乙登記所ニ提出シテ登記ヲ申請スルコトヲ要ス

前條第二項、第三項及ヒ不動産登記法第九條第二項但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 船舶管理人ノ更迭ノ登記ハ所有權ノ登記名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ要ス

不動産登記法第五十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 船舶管理人ノ表示ノ變更ノ登記ハ本人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ要ス

不動産登記法第四十三條及ヒ第五十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十八條 所有權ノ移轉ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其移轉ノ結果ニ因リ共有カ消滅スヘキ片ハ船舶管理人ノ登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第二十九條 未登記ノ船舶所有權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

不動産登記法第二百二十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 左ノ場合ニ於テハ所有權ノ登記名義人ハ申請書ニ事由ヲ記載シテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ要ス

一 船舶カ滅失又ハ沈没シタルトキ

- 二 船舶カ解散セラレタルトキ
 - 三 船舶ノ存否カ六個月間分明ナラサルトキ
 - 四 船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失シタルトキ
 - 五 船舶カ船舶法第二十條ニ掲クル船舶トナリタルトキ
- 前項ノ場合ニ於テハ其事實ヲ證スル官吏又ハ公吏ノ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三節 抵當權及ヒ賃借權ニ關スル登記手續

第三十一條 登記官吏カ抵當權ノ登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ニ不動産登記法第一百七條ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十二條 製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ハ製造地ヲ管轄スル登記所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三十三條 製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

- 一 船舶ノ種類
 - 二 龍骨ノ長サ若シ船舶カ石數ヲ以テ積量ヲ表示スルモノナルトキハ航ノ長サ
 - 三 計畫ノ幅及ヒ深サ
 - 四 計畫ノ積量
 - 五 製造地
 - 六 造船者ノ氏名、住所若シ造船者カ法人ナルトキハ其名稱及ヒ事務所
 - 七 不動産登記法第三十六條第三號乃至第八號ニ掲ケタル事項
- 第三十四條 製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ前條第一號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ證スル造船者ノ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三十五條 製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ハ特別登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三十六條 特別登記簿ニ抵當權ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ第三十三條第一號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ記載シ且甲區事項欄ニ登記義務者ノ氏名、住所及ヒ抵當權ノ登記ノ申請ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十七條 製造中ニ抵當權ノ登記アリタル船舶ノ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ船籍港カ抵當權ノ登記ヲ爲シタル登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ所有權ノ登記ヲ爲シタル後其登記用紙ニ抵當權ノ登記ヲ移スコトヲ要ス

抵當權ノ登記ヲ移ストキハ其登記ノ末尾ニ特別登記簿ニ依リテ登記ヲ移シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第三十八條 製造中ニ抵當權ノ登記アリタル船舶ノ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ船籍港カ抵當權ノ登記ヲ爲シタル登記所ノ管轄ニ屬セザルトキハ申請書ニ特別登記簿ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ特別登記簿ノ謄本ニ依リ登記簿ニ抵當權ノ登記ヲ移スコトヲ要ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス前登記所カ特別登記簿ノ謄本ヲ交付シタルトキハ其用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第三十九條 船長カ商法第五百六十八條第一項第一號ノ規定ニ從ヒテ設定シタル抵當權ノ登記ハ日本ニ於テハ其契約ヲ爲シタル港ヲ管轄スル登記所、外國ニ於テハ最近ノ日本領事館ヲ以テ管轄登記所トス

第四十條 船長カ前條ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ船舶ヲ抵當ト爲シタル事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十一條 第三十九條ノ登記ハ特別登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四十二條 特別登記簿ニ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ船舶ノ種類、名稱並ニ積量及ヒ船籍港ヲ記載シ且中區事項欄ニ船舶所有者ノ氏名、住所及ヒ抵當權ノ登記ノ申請ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十三條 第三十九條ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ代理權ヲ證スル書面カ船中ニ備ヘ置クヘキモノナルトキハ登記官吏ハ登記完了ノ後之ヲ還附スルコトヲ要ス

第四十四條 第三十九條ニ定メタル登記所ハ登記ヲ爲シタル後遲滞ナク船籍港ヲ管轄スル登記所ニ特別登記簿ノ謄本ヲ移送シ其用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第四十五條 特別登記簿ノ謄本ノ移送ヲ受ケタル登記所ハ其謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移シ其末尾ニ特別登記簿ノ謄本ニ依リテ登記ヲ移シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

登記官吏カ登記證書ニ依リ商法第五百六十八條第一項第一號ノ規定ニ從ヒテ設定シタル抵當權アルコトヲ知リタルトキハ前項ノ登記ヲ爲スマテ登記簿ニ他ノ登記ヲ爲スコトヲ得ス此場合ニ於テ登記ノ申請アリタルトキハ其登記ハ特別登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十二條及ヒ第十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十六條 登記官吏カ賃借權ノ登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ニ不動産登記法第二百一十七條第一項ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十七條 既登記ノ船舶ニ關スル未登記ノ抵當權又ハ賃借權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

不動産登記法第二百三十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

附則

第四十八條 此規則ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四十九條 不動産登記法第六十二條ノ規定ハ明治十年第二十八號布告ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ之ヲ準用ス

第五十條 不動産登記法第六十三條ノ規定ハ此規則施行前ニ登記シタル船舶ニ付キ此規則施行ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス但登記用紙中表示欄ニ移スヘキ船舶ノ表示ハ第十六條ノ規定ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第五十一條 船舶法第二十條ニ掲ケタル船舶ニ非スシテ此規則施行前ニ登記セザリシ船舶ニ付テハ船舶法第四條ノ規定ニ依リテ其移量ノ測定ヲ受クルマテハ舊法ノ規定ニ依リテノミ登記ヲ爲スコトヲ得但賃借權ノ登記ニ付テハ舊登記用紙ニ丁區事項欄ヲ追加シ之ニ關シテハ此規則ノ規定ヲ適用ス

前條ノ規定ハ前項ノ船舶ニ付キ此規則ニ依リテ登記ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十二條 船舶法第二十條ニ掲ケタル船舶ニ付キ此規則施行前ニ爲シタル登記アルトキハ此規則施行ノ後ト雖モ舊法ノ規定ニ依リテ其登記ノ變更又ハ抹消ヲ申請スルコトヲ得前項ノ船舶ノ所有權カ移轉シタルトキハ其船舶ニ付キ此規則施行前ニ爲シタル質入又ハ書入ノ登記アル場合ニ限リ此規則施行ノ後ト雖モ所有權移轉ノ登記ヲ申請スルコトヲ得前二項ニ定メタル申請アリタルトキハ登記官吏ハ舊法ノ規定ニ依リ舊登記簿ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五十三條 此規則ノ施行ニ關スル細則ハ主務大臣之ヲ定ム

◎船舶登記取扱手續

(明治三十二年六月司
法省令第三十五號)

- 第一條 船舶登記簿ハ附録第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
 - 第二條 船舶共同人名簿ハ附録第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
 - 第三條 船舶特別登記簿ハ附録第一號雛形ニ準シ船舶特別共同人名簿ハ附録第二號雛形ニ準シ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
 - 第四條 船舶登記見出帳ハ附録第三號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
 - 第五條 船舶登記見出帳ニハイロハ順ニ依リ豫メイノ部ヨリスノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ其船名ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ船舶ノ名稱、登記用紙ヲ綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ
 - 第六條 受附帳ハ附録第四號雛形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ
 - 第七條 登記證書ハ附録第五號雛形ノ用紙ヲ以テ之ヲ作ルヘシ
 - 第八條 船舶所有者ハ其本籍地又ハ所在地ノ市區、町村長(市、區、町村長ナキ地ニ於テハ其職務ヲ行フ吏員)ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ船籍港ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトモ亦同シ但不動產ノ登記ニ關シ其登記所ニ印鑑ヲ提出シタル者ハ此限ニ在ラス
- 船舶ヲ所有スル法人ノ代表者ハ法人ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ船籍港ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ但法人ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ト船籍港ヲ管轄スル登記所ト同一ナルトキハ此限ニ在ラス

- 第九條 印鑑ハ附録第六號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第十條 第八條ノ規定ハ官廳又ハ公署ニハ之ヲ適用セス
- 第十一條 登記所ニハ登記簿、共同人名簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ
 - 一 謄本抄本交付帳
 - 二 登記證書交付帳
 - 三 申請、囑託書附屬書類綴込帳
 - 四 受領證原符元帳
 - 五 各種通知簿
 - 六 登記立會調書綴込帳
 - 七 決定原本綴込帳
 - 八 登記簿謄本綴込帳
 - 九 船舶異動通知書綴込帳
 - 十 船舶登記濟通知簿
 - 十一 抗告書類綴込帳
 - 十二 本登記濟證交付帳
 - 十三 印鑑簿
- 第十二條 登記簿謄本ノ交付又ハ登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ但閱覽ヲ請求スル申請書ニハ利害ノ關係アル事由ヲ記載シ又ハ其事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ
- 一 船舶ノ種類及ヒ名稱

- 二 船籍港
- 三 手数料ノ金額
- 四 登記所ノ表示
- 五 年月日

第十三條 登記簿抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

第十四條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作り其末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺スヘシ

此謄本ハ何船籍港ノ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス

前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但抄本用紙ハ美濃野紙ヲ用ユヘシ

第十五條 登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其登記ヲ申請スルニ必要ナル事項ノ外登録税額ヲ記載スヘシ但登録税法第三條第一項第一號乃至第十號ノ登記ニ付テハ課税標準ノ價格ヲモ記載スヘシ

第十六條 登記原因及ヒ登記ノ目的カ同一ニシテ且登録税法第三條第一項第七號乃至第十號ハ規定ニ依リ登録税ヲ納付スヘキ場合ニ於テハ數箇ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數箇ノ船舶ニ關スル權利ノ登記ヲ申請スルトキハ最初ニ登記ヲ申請スル登記所ニ登録税ノ全額ヲ納付スヘシ

前項ノ規定ニ從ヒ登録税ヲ納付シタルトキハ登記官吏ハ登記ヲ申請スヘキ登記所ノ數ニ應シ登録税ノ受領證ヲ申請人ニ交付スヘシ但二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ

番號ヲ附スヘシ

申請人カ他ノ登記所ニ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ受領證ヲ添附スヘシ

第十七條 船舶登記規則第十條第一項ノ規定ニ依リ登記證書ノ交付ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十八條 登記證書ヲ交付スルトキハ登記證書交付帳ニ登記番號、船舶ノ種類、名稱並ニ船籍港、交付ノ年月日及ヒ申請人ノ氏名ヲ記載シ登記證書ト契印スヘシ

第十九條 船舶登記規則第三條第一項ノ通知ニハ船舶ノ種類、名稱、積量、船籍港、申請書受附ノ年月日、登記ノ目的及ヒ申請人ノ氏名住所ヲ記載スヘシ

第二十條 船舶登記規則第三條第二項ノ規定ニ依リ管海官廳ヨリ受ケタル通知書ハ登記簿ヲ分設シタル區畫ニ從ヒ之ヲ編綴シ丁數ヲ附スヘシ但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ見出帳中相當欄ニ其通知書ヲ編綴セル船舶異動通知書綴込帳ノ冊數及ヒ丁數ヲ記入スヘシ

第二十一條 管海官廳ヨリ異動ノ通知ヲ受ケタル船舶ニ付キ其異動ニ關シ變更登記ヲ爲シタルトキハ見出帳中其異動ニ關シ船舶異動通知書ノ冊數、丁數欄ニ爲シタル記入ヲ朱抹スヘシ

第二十二條 登記番號ハ船舶登記規則施行ノ日ヨリ更ニ新ナル番號ヲ附スヘシ

第二十三條 船舶登記規則第五十一條第一項但書ノ規定ニ依リ舊登記簿用紙ニ丁區事項欄ヲ追加スル場合ニ於テハ舊登記用紙中丙區ノ左側ニ附録第一號雖形中丁區事項欄ノ部分ト同一ノ用紙ヲ貼附シ登記官吏契印スヘシ

第二十四條 不動産登記法施行細則第二條第二項、第三項、第四條、第五條、第十條、第十二條、第十三條、第十五條、第十七條、第十八條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第二十九條、第三十三條、第三十四條、第三十六條、第三十七條、第三十九條、第四十條、第四十五條乃至第四十七條、第四十九條、第五十一條乃至第六十條、第六十四條乃至第六十七條、第六十九條乃至第七十六條及七商業登記取扱手續第十三條、第四十六條ノ規定ハ船舶ノ登記ニ之ヲ準用ス

◎船舶登記管轄ノ件 (明治三十二年七月 司法省令第三十九號)

船籍港カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カルトキハ其船舶登記ノ事務ハ商業登記ニ付委任シタル登記所ニ於テ之ヲ取扱フ

◎船舶書入質ノ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ關スル登記取

扱手續 (明治三十二年六月 司法省令第三十六號)

第一條 明治十年第二十八號布告ニ從ヒテ船舶書入質ノ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ關スル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外船舶登記規則其他船舶ノ登記ニ關スル規程ニ依ル

第二條 前條ノ登記ヲ申請スル者ハ其申請書ニ公證ノ年月日、公證ノ番號及ヒ公證ノ順位ヲモ記載シ公證ヲ經タル證書ヲ添附スヘシ

第三條 登記スヘキ權利ノ目的タル船舶ノ表示カ公證ヲ經タル時ト異ナルトキハ申請書ニ新舊ノ表示ヲ爲シ且其異ナル事由ヲ説明スヘシ

第四條 登記ヲ爲ストキハ内區事項欄ニ公證ノ年月日、公證ノ番號及ヒ公證ノ順位ヲモ記載スヘシ

第五條 明治三十二年司法省令第十二號公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ關スル登記取扱手續第五條乃至第八條及ヒ第十條乃至第十五條ノ規定ハ船舶書入質ノ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ關スル登記ニ之ヲ準用ス

權利ニ關スル登記ニ之ヲ準用ス

◎船舶登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求等ニ關スル件 (明治三十二年六月 司法省令第三十七號)

第一條 船舶登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料金拾錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス

第二條 船舶登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ手数料金拾錢ヲ納ムヘシ

第三條 船舶登記規則第十條第一項ノ規定ニ依リ登記證書ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金五拾錢ヲ納ムヘシ

第四條 特別登記簿ニ船舶ニ關スル登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ每一件手数料金拾錢ヲ納ムヘシ

第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

第六條 第一條乃至第四條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス

第七條 本令ハ船舶登記規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

實用 船舶検査新規程書 終

2-465

明治三十九年十月十日印刷
明治三十九年十月十五日發行

不許複製

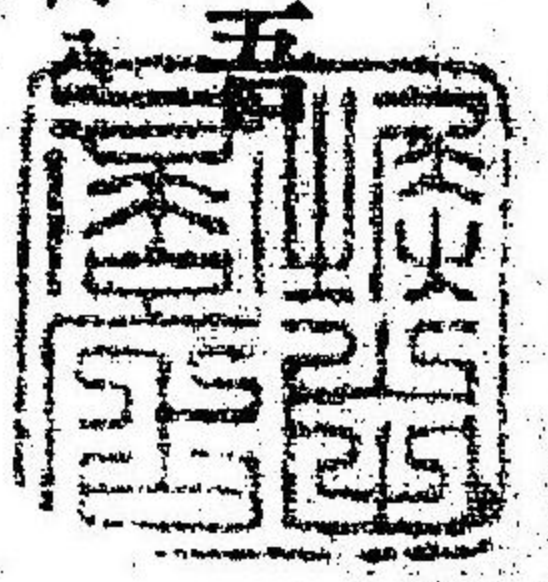
著作發行者兼

印刷者

定價金五拾錢

堀田金

大阪市西區九條町五丁目一八八



岩井龜次郎

大阪市西區阿波座中道二丁目二七一

發賣元

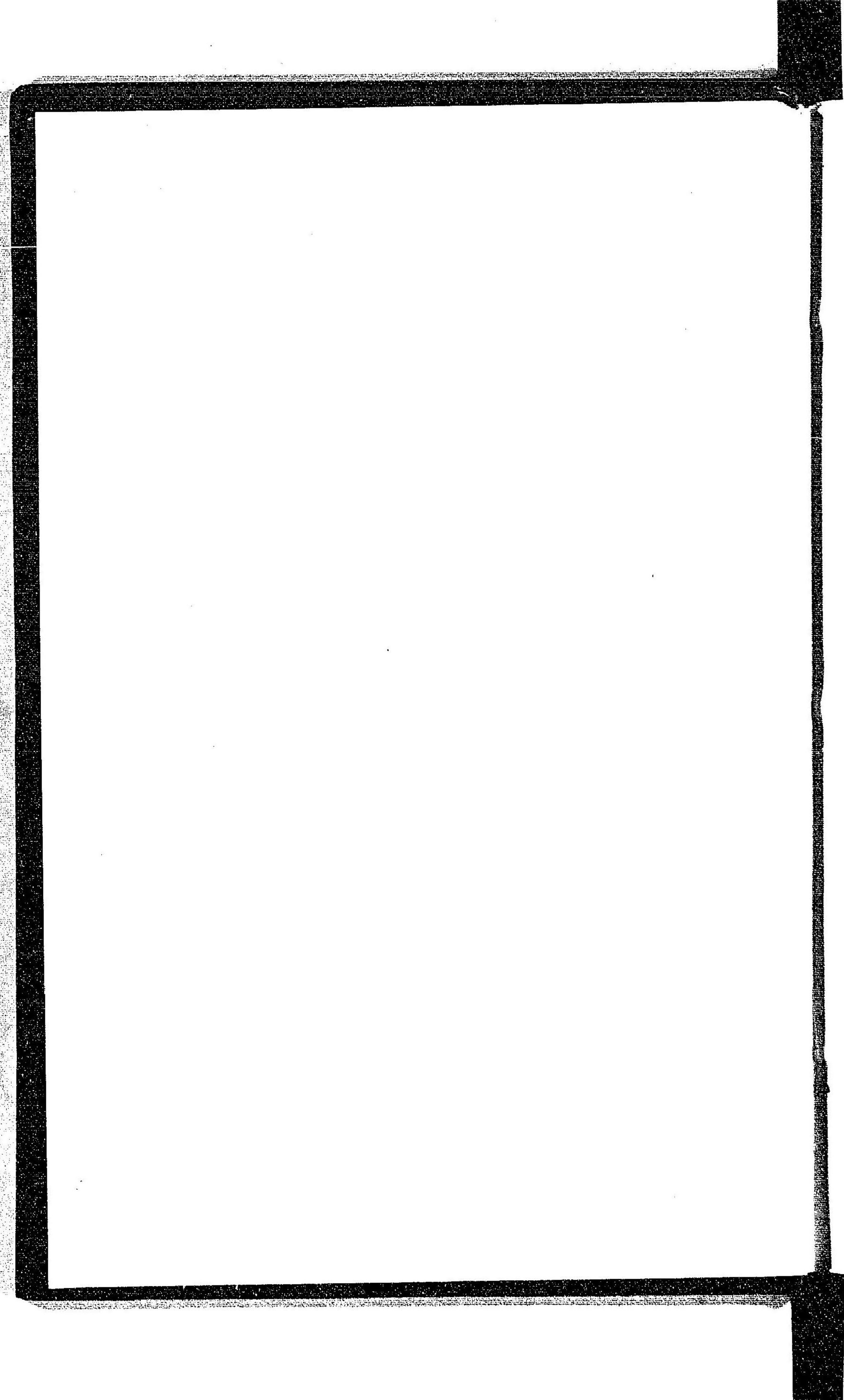
大阪市西區九條町五丁目一八八

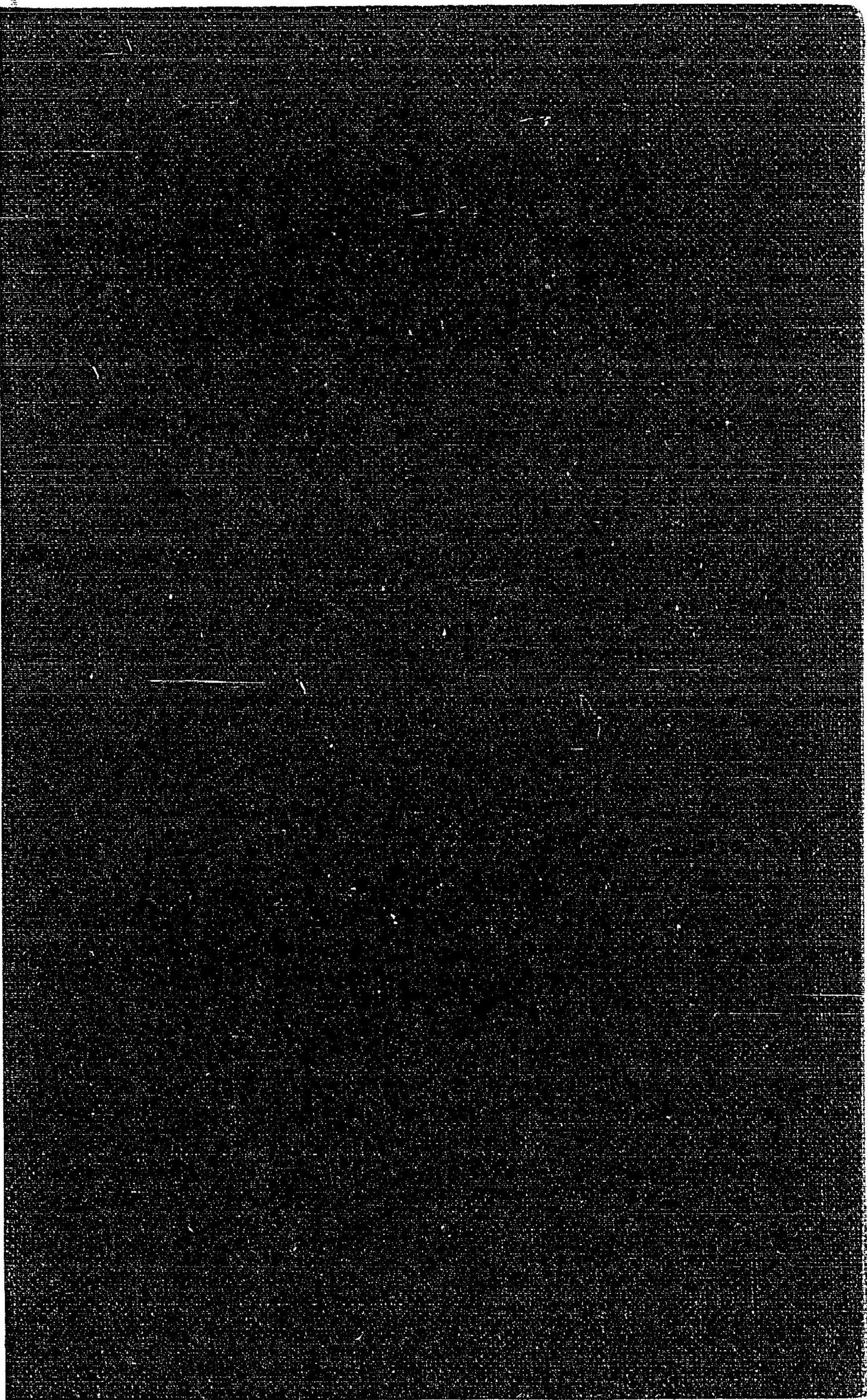
堀田航盛館

賣捌所

大阪市北區安治川通南二丁目

航盛館支店





319
179

禁
電
子
式
複
写

037636-000-4

CZ-477-06

实用船舶検査新規程書

附. 船舶法

堀田航盛館

M39

BBU-0253



